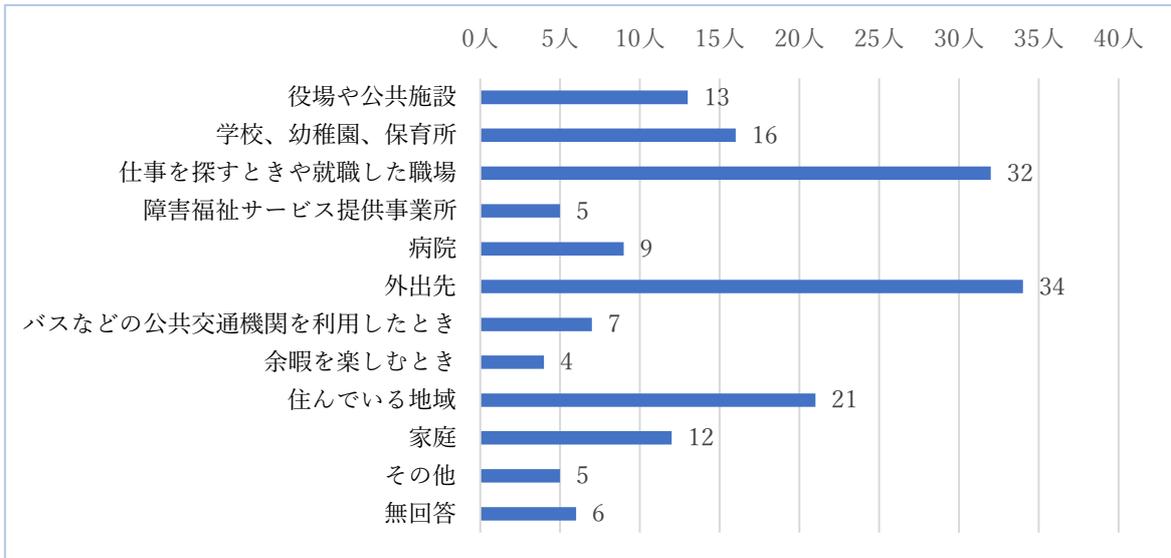
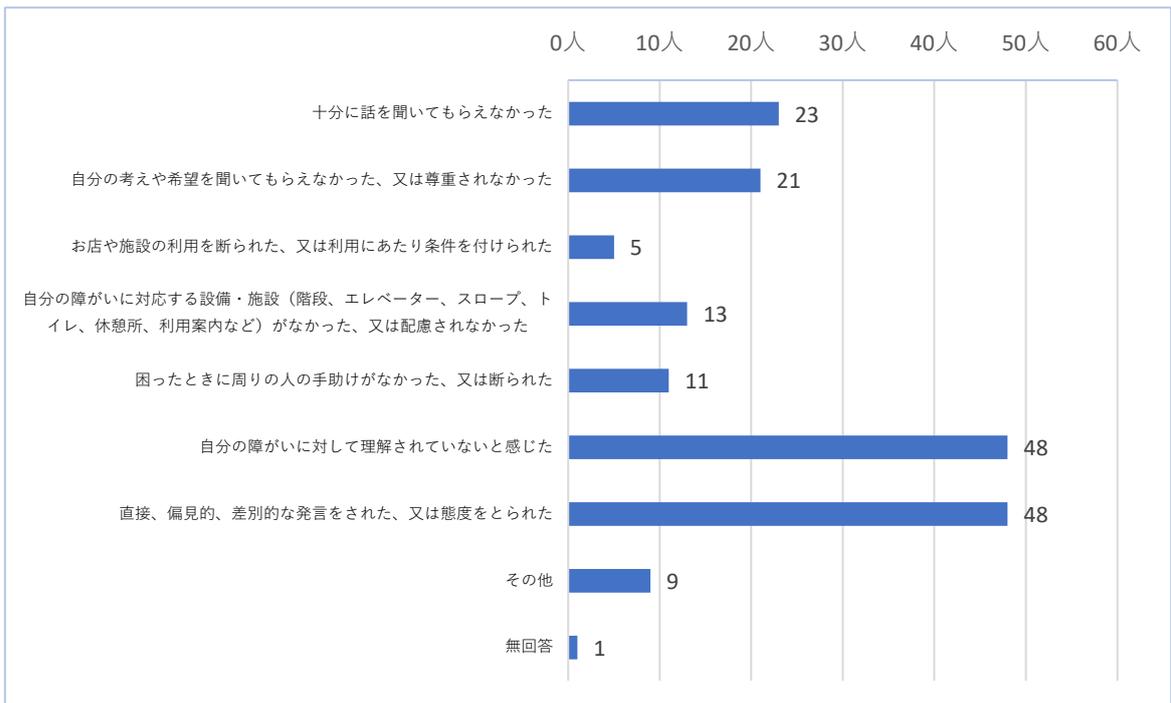


②どのような場所で感じたか (N=94) ※複数回答あり



③どのような時に感じたか (N=94) ※複数回答あり

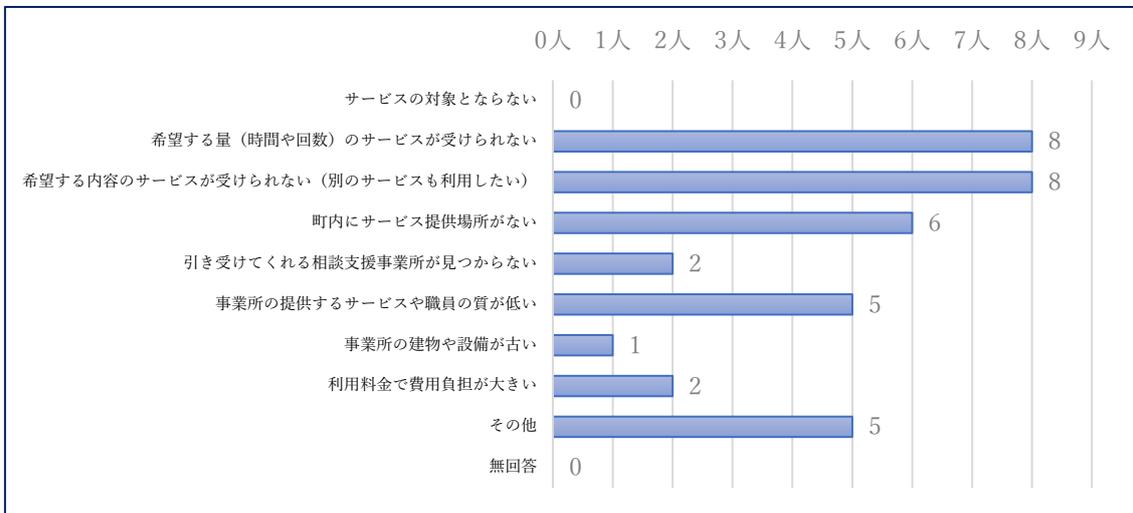


その他の内容

- ・ 悪口を言われた
- ・ 毎月のタクシー代
- ・ 好奇の目にさらされる
- ・ 看護師に何度も精神科に行けと言われた
- ・ 保護者(私のいない所)で悪い噂を流された
- ・ チラチラ、あの人なにと言う目で見られたとき
- ・ 相談に乗ってくれていた保健福祉の方が突然いなくなった。
- ・ デイケアで皆に親切にされたけどスーパーで酷い言葉で高校生に言われた。もう気にしてない、私にも非があるから。

※④で「どちらかといえば不満がある」「不満がある」と答えた方への質問
 ⑤どのような点に不満をお持ちですか (N=19)

※複数回答あり

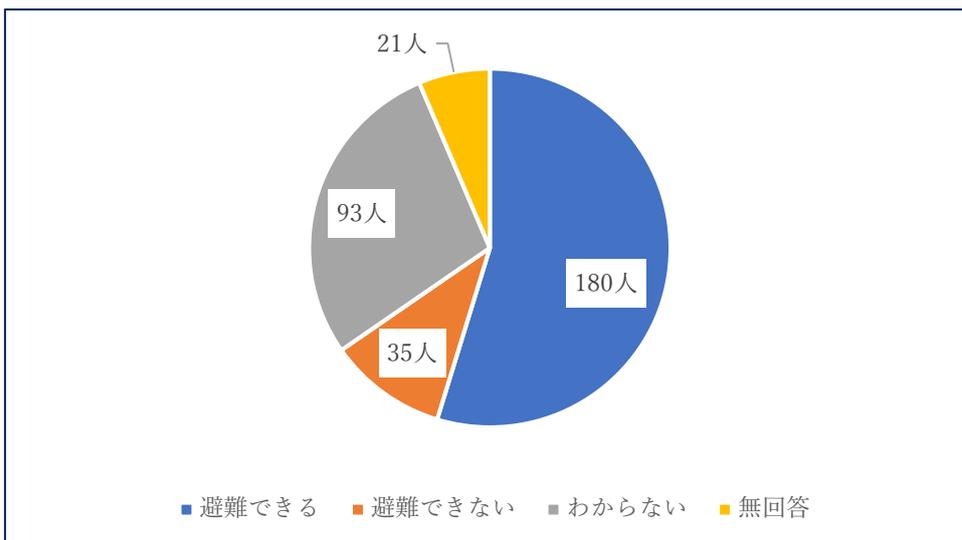


その他の内容

- ・ いじわるな人がいる
- ・ 賃金の低さ、事業所との対話が少ない
- ・ 人に接するのがしんどい
- ・ 町内に利用できる所がなく町外に行っているのが遠い
- ・ サービス申請のみで利用はしてません。自宅、放課後で見守り隊の支援があるとありがたいです。

〔9〕 災害対策について

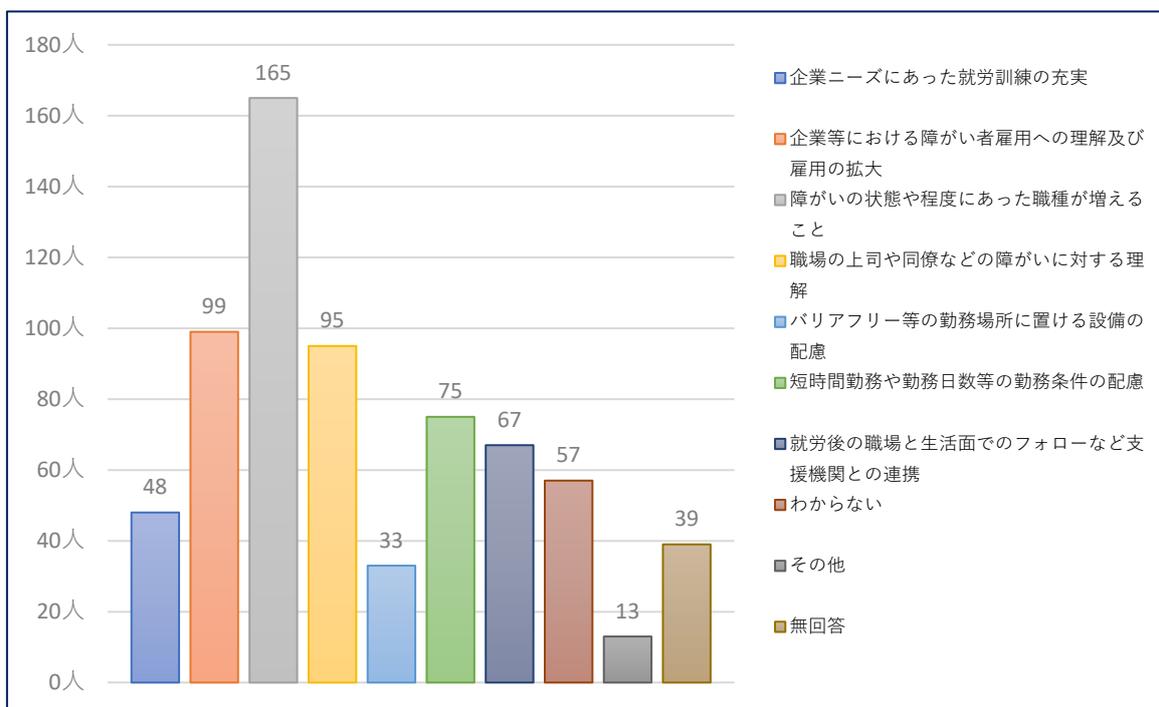
①地震や豪雨、台風などの災害時にあなた(本人)は、一人で又は支援を受けながら、安全に避難できる環境にありますか (N=329)



- ・今の障がいのできる仕事が見当たらない ・ 職場に合わない人がいて休職中
- ・仕事先は決まっているもののコロナで待機中
- ・タトゥーを入れているので断られる
- ・最近、就職したがやめた。病気のため、症状悪化のため、家にいてゆっくりしているように病院で（先生に）言われている。
- ・色々な所に相談はしているがその場所に1人で行くことが不可能（同行援護、同行介助がない）なためそこから話が進まない。

⑤障がいのある人の就労支援として必要だと思うことについて（N=179）

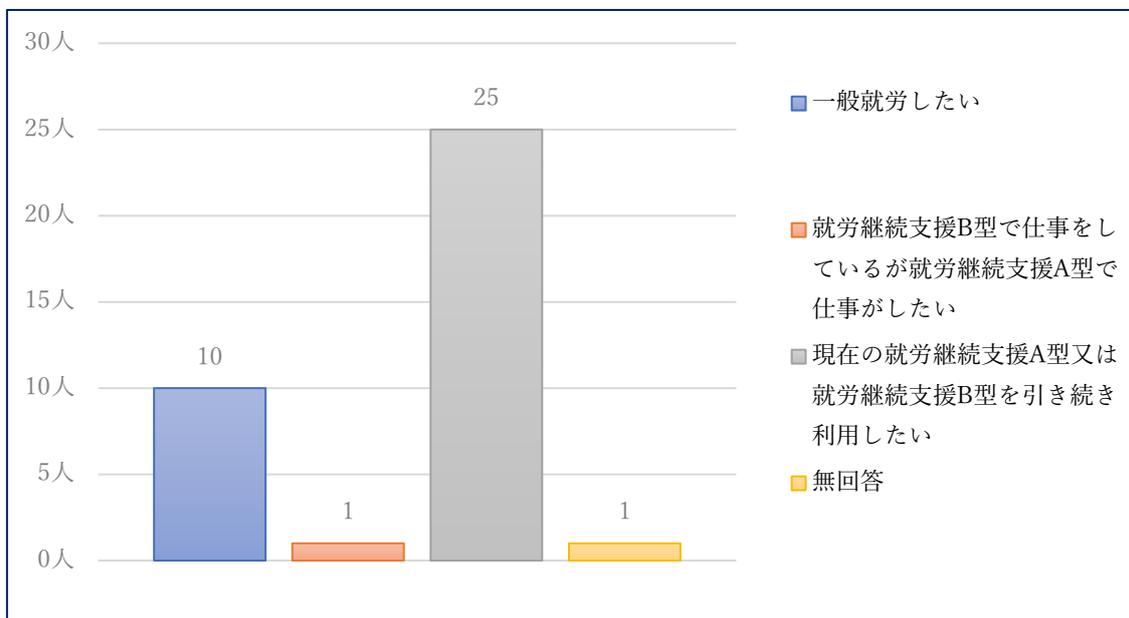
※複数回答あり



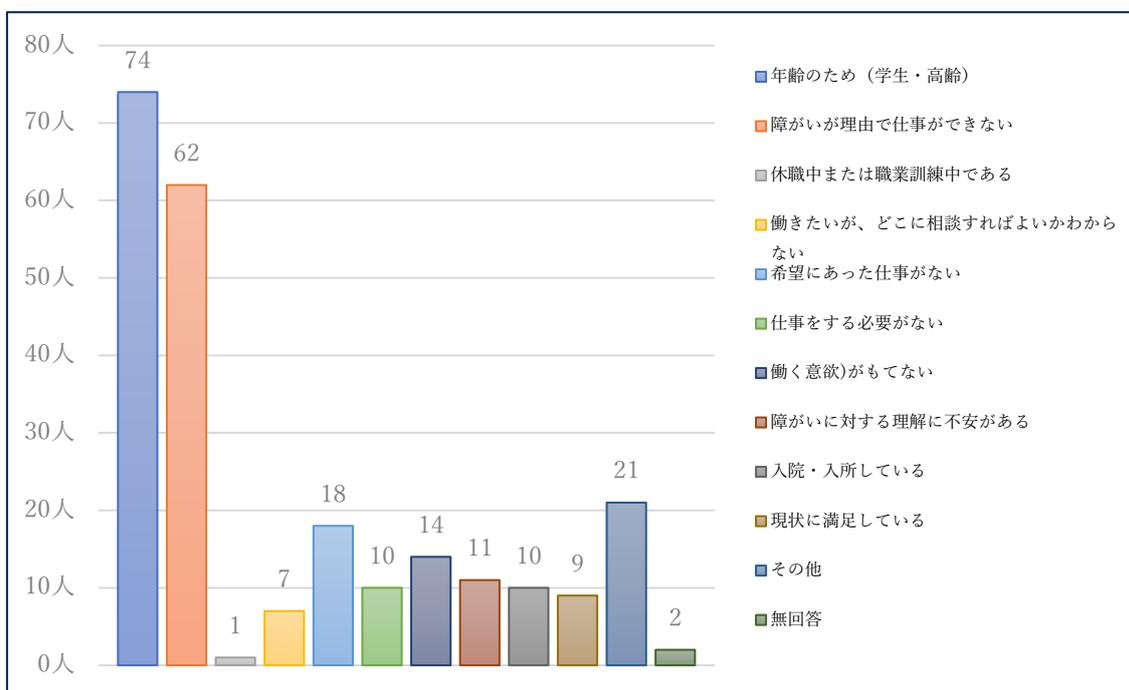
その他の内容

- ・ 金銭面での向上 ・ 町が生活費を全額出すべき ・ 見た目で選ばないでほしい
- ・ 義務教育での障がい者への認知度
- ・ 就労支援の形でその人にあった支援で働ける場所を作ってほしい。
- ・ 若いときの体験で企業に対する嫌悪感がひどくて
- ・ いずれにしろ本人に何事にも意欲がないので無理
- ・ 障がいの状態や程度にあった支援の拡充
- ・ スキルを身につけるための機関の拡大。今の時代なのでリモート講義などの拡大。リモートで可能なお仕事の斡旋。自宅にいながらお仕事ができるようなシステムの紹介。ウェブなど、メタバースの推進。
- ・ 短時間勤務や勤務日数が少なくても、最低でも毎月生活ができるだけの給料が欲しい。

※①で「6 就労継続支援A型」「7 就労継続支援B型」と回答した方にお伺いします。
 ③就労に関する考え方について (N=37)



※①で「8 就労していない」と回答した方にお伺いします。
 ④仕事をしていない理由について (N=64)



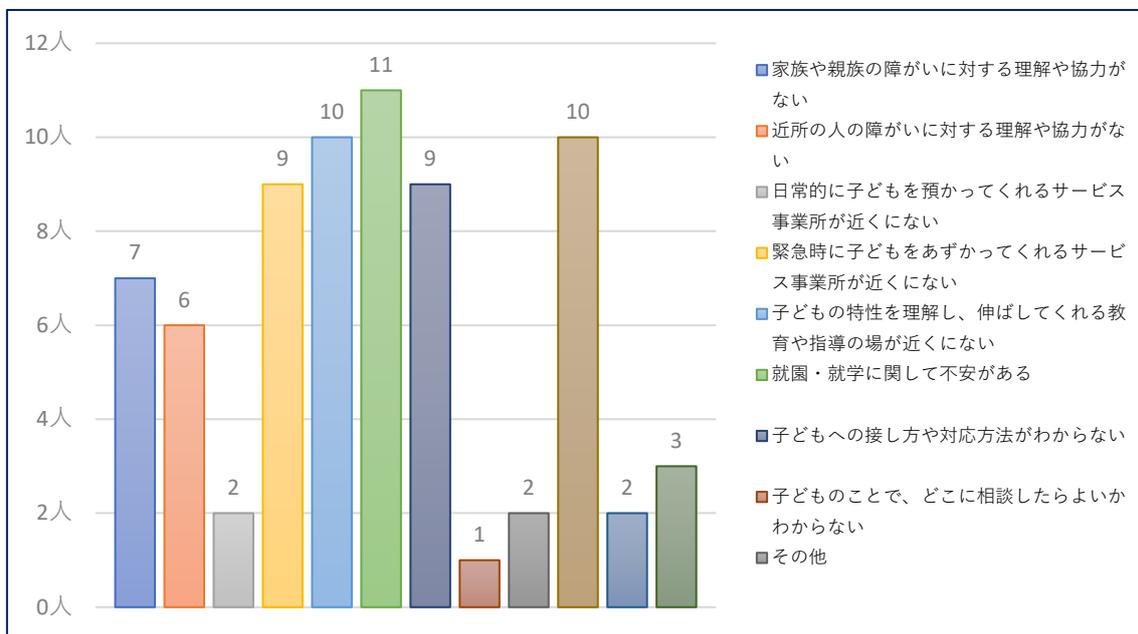
その他の内容

- ・ 介護のため ・ 親の介護 ・ 透析のため ・ わかりません ・ 体力もなし
- ・ 歳のため ・ 就職活動中 ・ 体調不良のため休んでいる
- ・ 生活介護を利用しているから ・ 就労の対象ではない ・ 人との関係が怖い

〔5〕療育・保育・教育について

①お子さんについての困りごとや悩み事について（N=40）

※複数回答あり

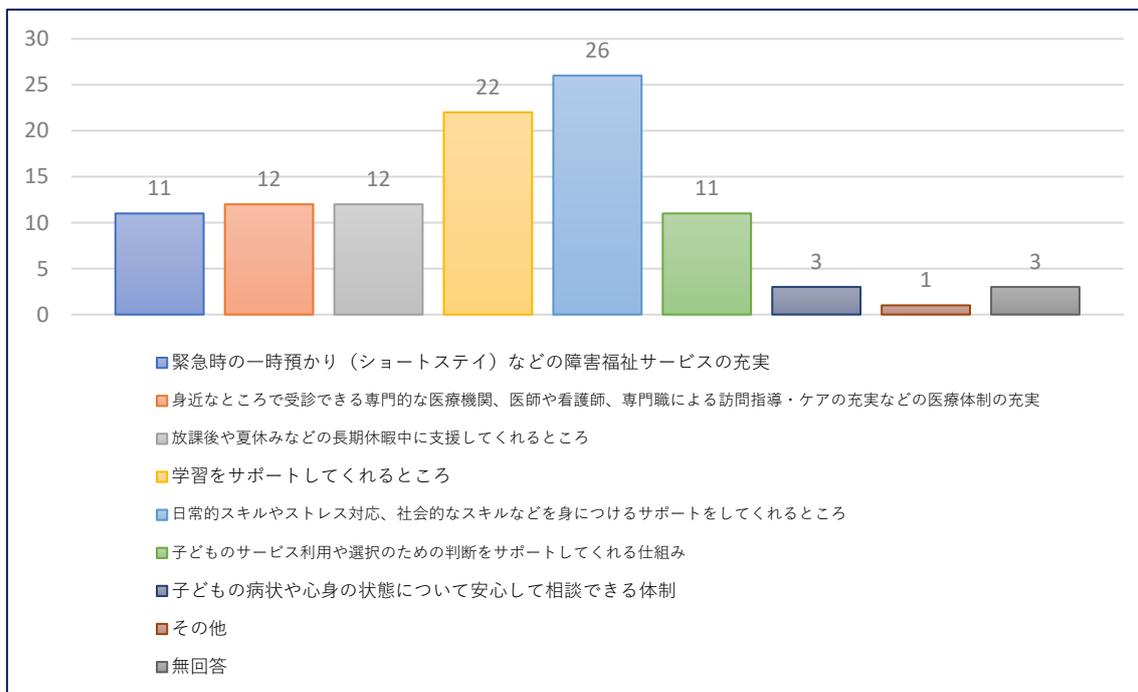


その他の内容

- ・ サービス事業所が少ないため子どもにあう事業所が選べない。

②今後、充実してほしいサービスについて（N=40）

※複数回答あり



(5) 支援の必要な児童・生徒

① 幼児健診で把握した支援の必要な子ども

愛南町では、1歳6か月、3歳、5歳で幼児健診を実施しています。言語発達遅滞や多動など発達障がい疑いのある子どもは増加傾向にあります。

令和4年度には、226人が受診し54人が要支援となりました。

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
要支援人数	22	27	28	36	40	46	44	65	43	49	53	54
要支援率(%)	5.3	7.5	7.2	9.1	11.5	9.7	12.6	20.9	17.1	17.1	25.0	23.9

② 保育所・幼稚園に通っている子どもの状況

令和3年度と比べると、「発達障がい疑いを含め診断のある子ども」は減少していますが、「その他気になる子ども」は増加しています。

令和5年12月1日現在

区分		1歳児 クラス	2歳児 クラス	3歳児 クラス	4歳児 クラス	5歳児 クラス	合計
発達障がい疑い含 め診断のある子ども	人数	0	2	3	5	8	18
	割合	0%	4.0%	4.6%	6.6%	8.7%	4.8%
その他気になる 子ども	人数	21	21	20	45	47	154
	割合	38.2%	42.0%	30.8%	59.2%	51.1%	41.2%

※その他気になる子どもは、25項目の気になる行動で1つでも該当するとカウントされます。

③ 通級指導教室を利用している児童・生徒

平城小学校、城辺小学校、城辺中学校に通級指導学級を設置し、児童・生徒の特性に合わせた個別の指導を行っています。

令和5年5月1日現在

学年	小学校							中学校				合計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	小計	1年	2年	3年	小計	
人数	4	8	6	8	2	6	34	6	3	4	13	47

④ 特別支援学級に在籍している児童・生徒

特別支援学級は、小学校で9校14学級、中学校で2校3学級が設置されています。

令和5年5月1日現在

学年	小学校							中学校				合計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	小計	1年	2年	3年	小計	
人数	5	8	7	4	7	5	36	1	2	2	5	41

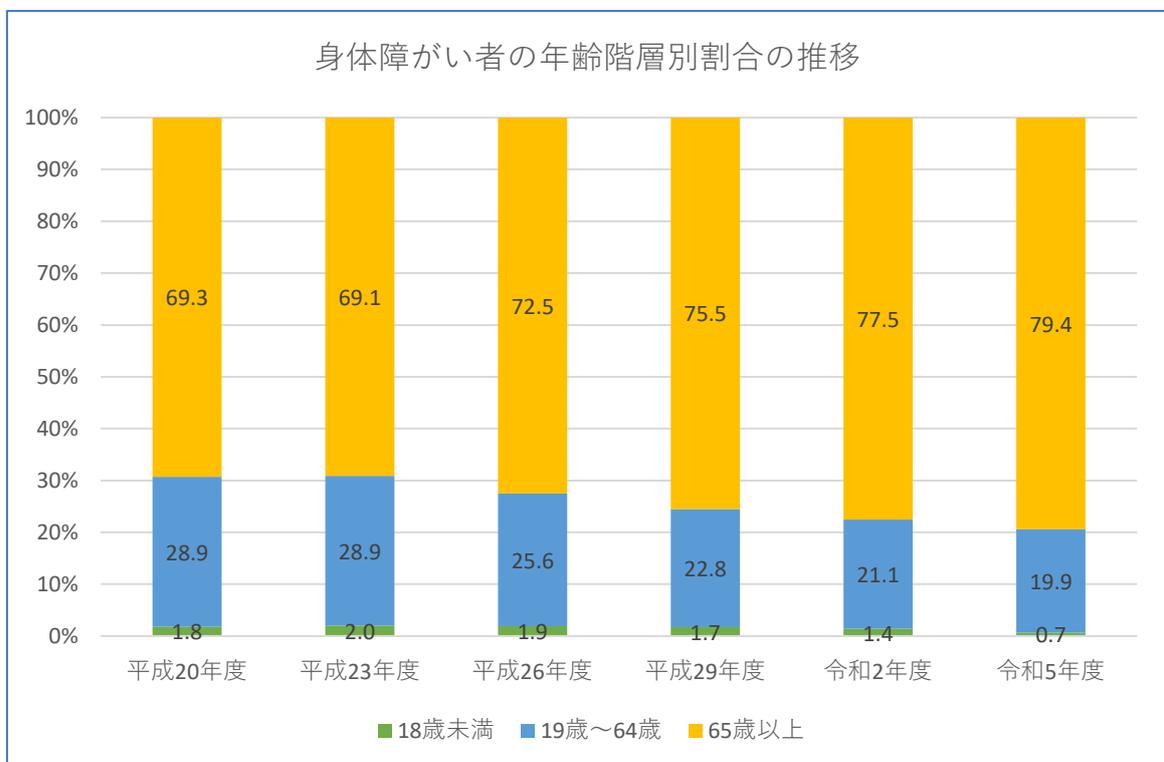
計画策定年度別に障害者手帳所持者数をみると、平成20年度以降減少で推移し、令和5年4月1日現在で1,320人となっています。

手帳種別でみると、人口の減少に伴い身体障害者手帳所持者数は減少していますが、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳所持者は、わずかではありますが増加で推移しています。

(2) 身体障がい者（児）の状況（身体障害者手帳所持者）

年齢階層別でみると平成20年度から65歳以上は増加傾向、19歳～64歳までは減少傾向、18歳未満は1～2%の間で推移しています。

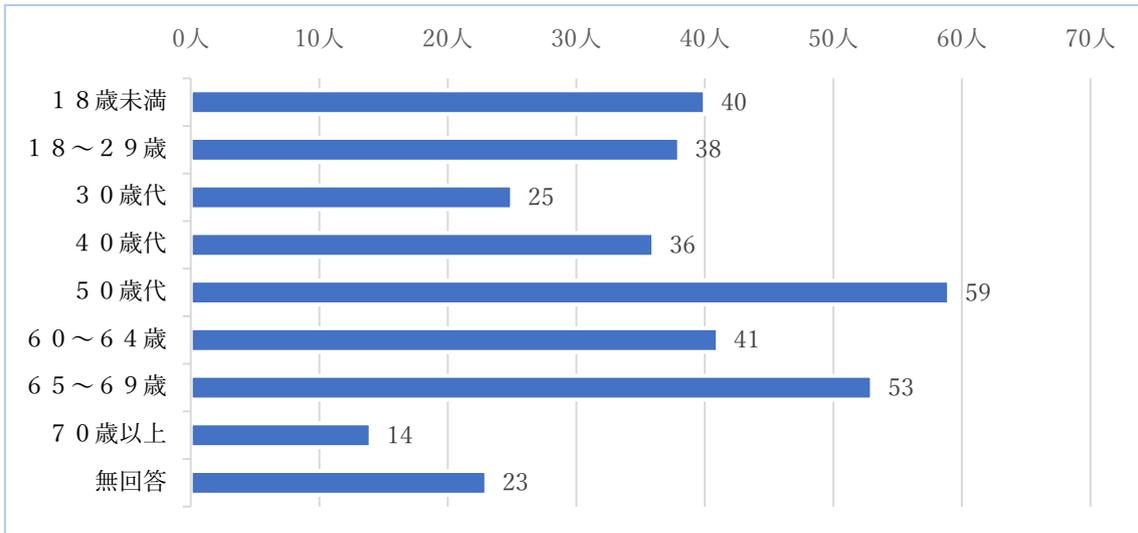
先天性の方は少なく、病気や怪我などにより障がいになる方が多いため65歳以上が全体の7割と多く年齢階層が低くなると割合が下がってきます。



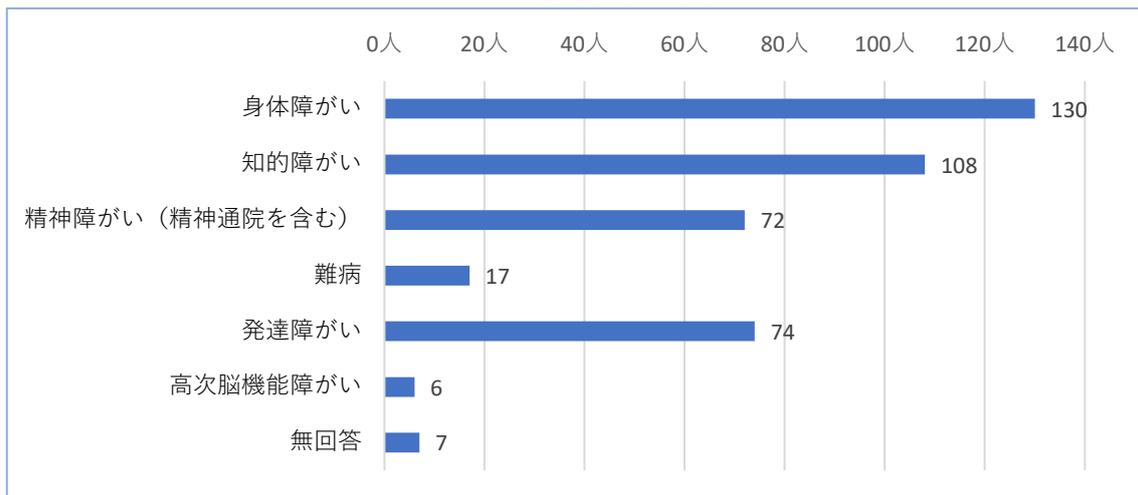
令和5年の身体障害者手帳の障がい種別では、肢体不自由が460人(49.8%)と約半数を占めています。次いで内部障がい334人(36.1%)、視覚障がい69人(7.5%)、聴覚・平衡機能障がい55人(6.0%)、音声・言語・そしゃく機能障がい6人(0.9%)となっています。

等級別にみると1級が342人(37.0%)、2級が168人(18.2%)、3級が109人(11.8%)、4級が211人(22.8%)、5級が53人(5.7%)、6級が41人(4.4%)となっています。

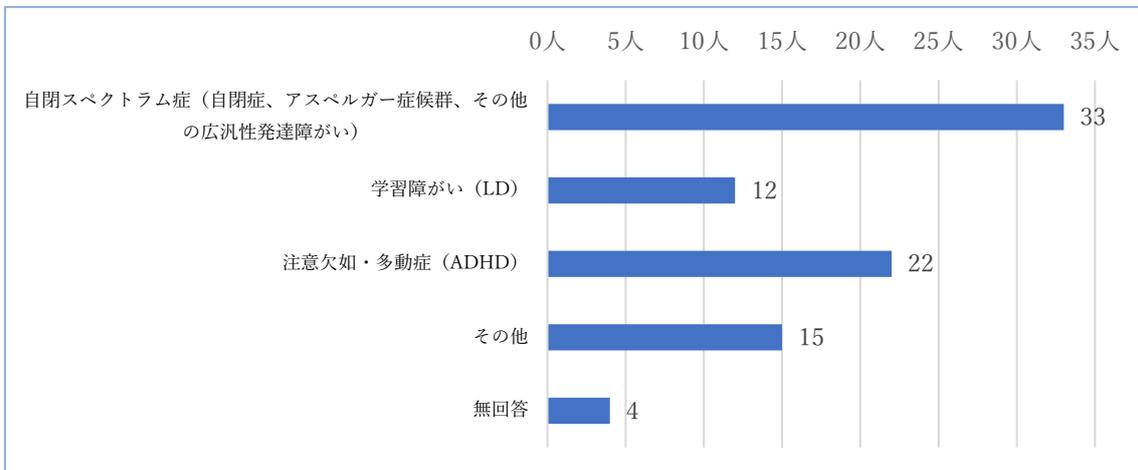
③年齢について (N=329)



④障がいについて (N=329) ※複数回答あり



発達障がいの内容 (N=74) ※複数回答あり



4 パブリックコメントに寄せられた意見

【意見】

・障がいのある子どもを育てています。この計画に関する事前のアンケートには必ず答え、印刷されたものが配られるたびに読み込んでいます。ちょっとでも子どものためになる情報はないか、社会に出るまでに準備できることはないか、という焦りがあるからです。そして日々の愛南町での子育てに常に不安を感じるからです。一般の町民にも配られるものなので、誰がいつどうしてしているか（またはどうするか、具体的に分かる説明が欲しいと感じます。例えばP11「要支援」となった場合、その子やその親にどんな「支援」があるのか、P65「分かりやすい行政情報の提供」とは誰がどんな方法で提供するのか、などです。そうすれば手に取り読んでくれる町民も増え、アンケートの回収率も上がり内容も充実するのではないのでしょうか。障がいのあるなしに関わらず、子どもたちが愛南町でずっと暮らしていきたい、愛南町が好きだとこの計画を読んで思えるような内容をぜひお願いしたいです。

【回答】

・御指摘のあった、P11「要支援」については統計を掲載していますので、具体的な支援は明記していません。

「要支援」のお子さんに対しては個別の相談を行い、必要な場合には発達相談の利用や療育に繋げる等の対応をしています。

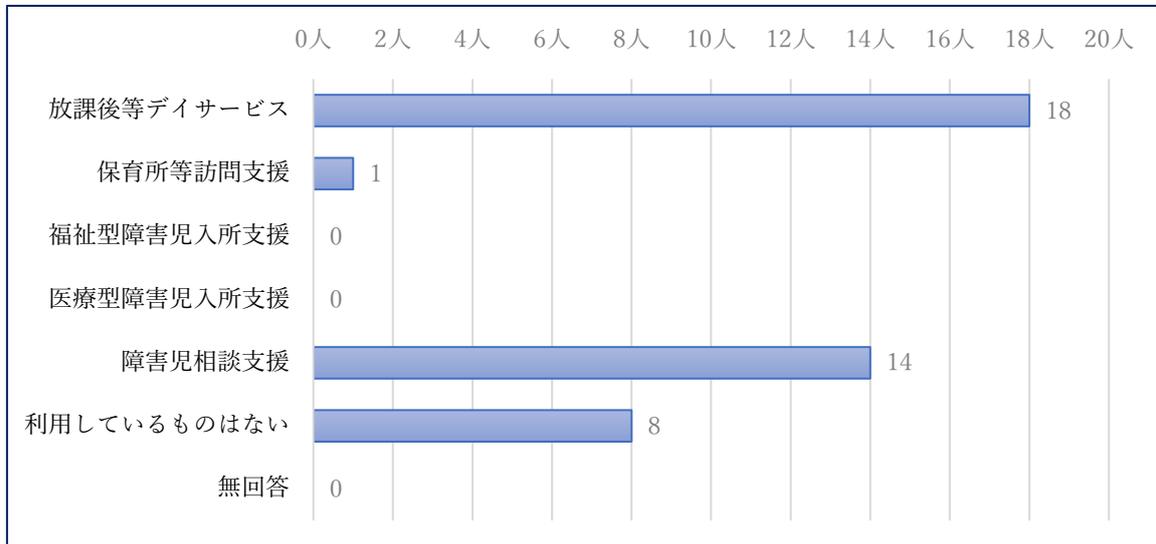
次にP65「分かりやすい行政情報の提供」につきましては、今回の計画から記載した内容であり、現状、障がいの特性に応じた情報発信などができていないため、今後、どのような方法で情報発信ができるかを協議して実施していきます。

※18歳未満の方への質問

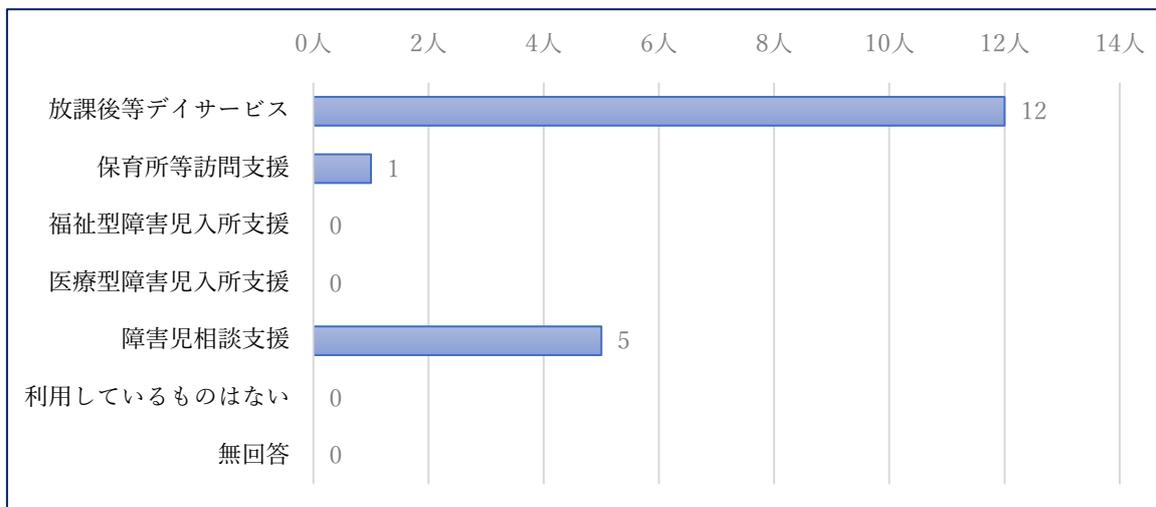
②現在、どのような福祉サービスを利用していますか。また、今後利用したいサービスはありますか（N=40）

※複数回答あり

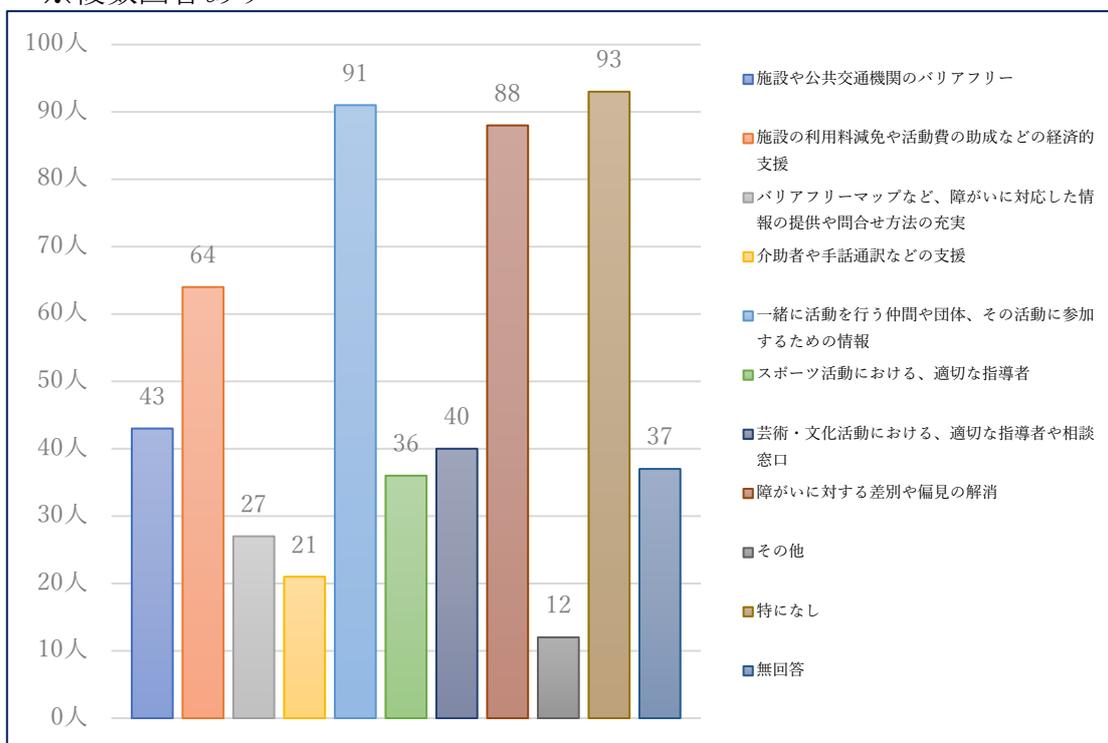
○現在、利用中のサービス



○今後、利用したいサービス（N=18）



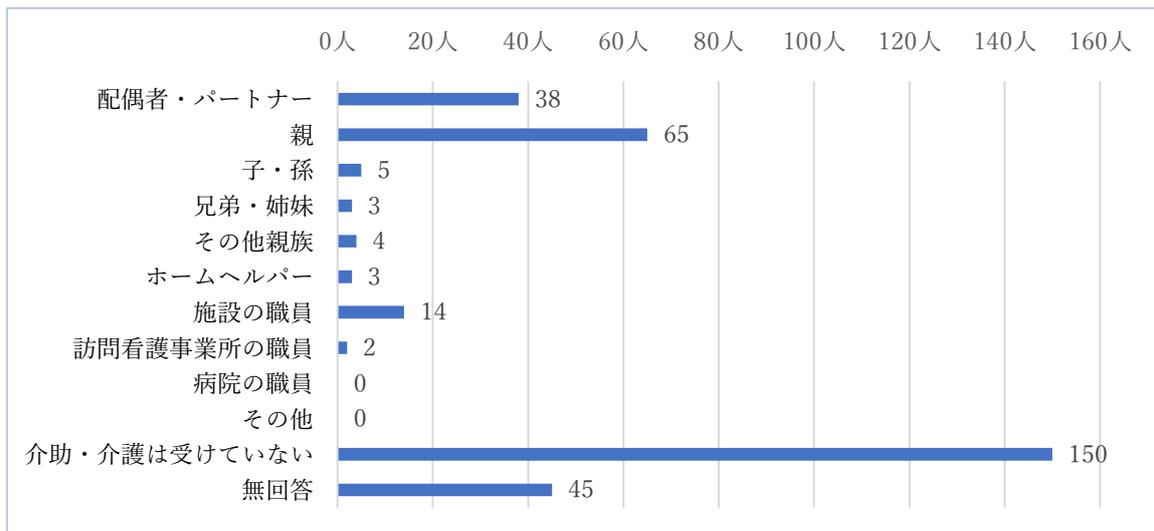
②どうすれば、社会活動にもっと参加しやすくなると思いますか（N＝329）
 ※複数回答あり



その他の内容

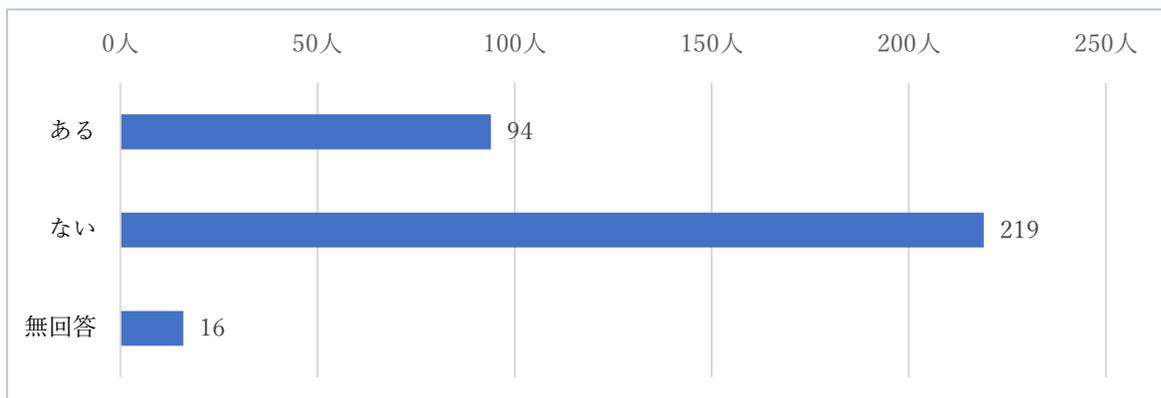
- ・ わからない
- ・ 送迎支援
- ・ 施設職員の増員
- ・ 周りの目かなと思う
- ・ HP、SNS 等で情報を受けられるようにしてほしい。
- ・ 終わってからこんなイベントがあったとよく聞く
- ・ 足が痛くて人中は気をつかうしなかなか。
- ・ 障がいの特性に合った環境や支援の仕方

⑦主な介助、介護者について (N=329)



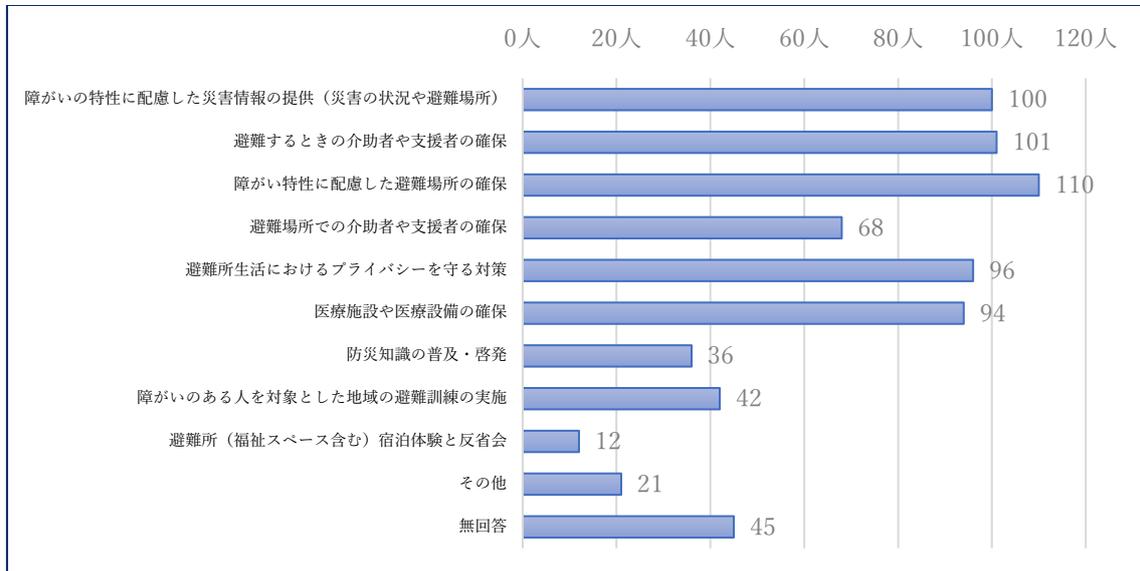
[2] 障がい者の権利について

①差別を受けたり、嫌な思いをしたことがあるか (N=329)



④地震や豪雨、台風などの災害時に備えて必要な対策は、どのようなことだと思えますか（N＝329）

※複数回答あり

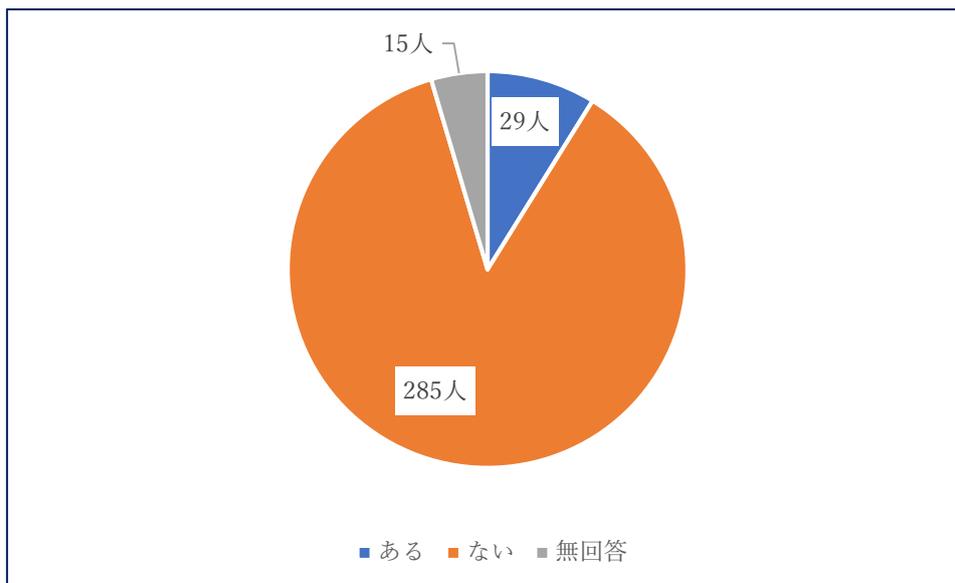


その他の内容

- ・ わからない
- ・ 直接避難の場
- ・ 日頃の職員の確保
- ・ 菓の確保
- ・ 菓、水、お茶、下着、色々
- ・ 家が大丈夫だと家にいるか、車の中にしようと思う

[10] 消費者被害について

①これまでに悪質（悪徳）商法などの消費者トラブルに巻き込まれたことはありますか（N＝329）



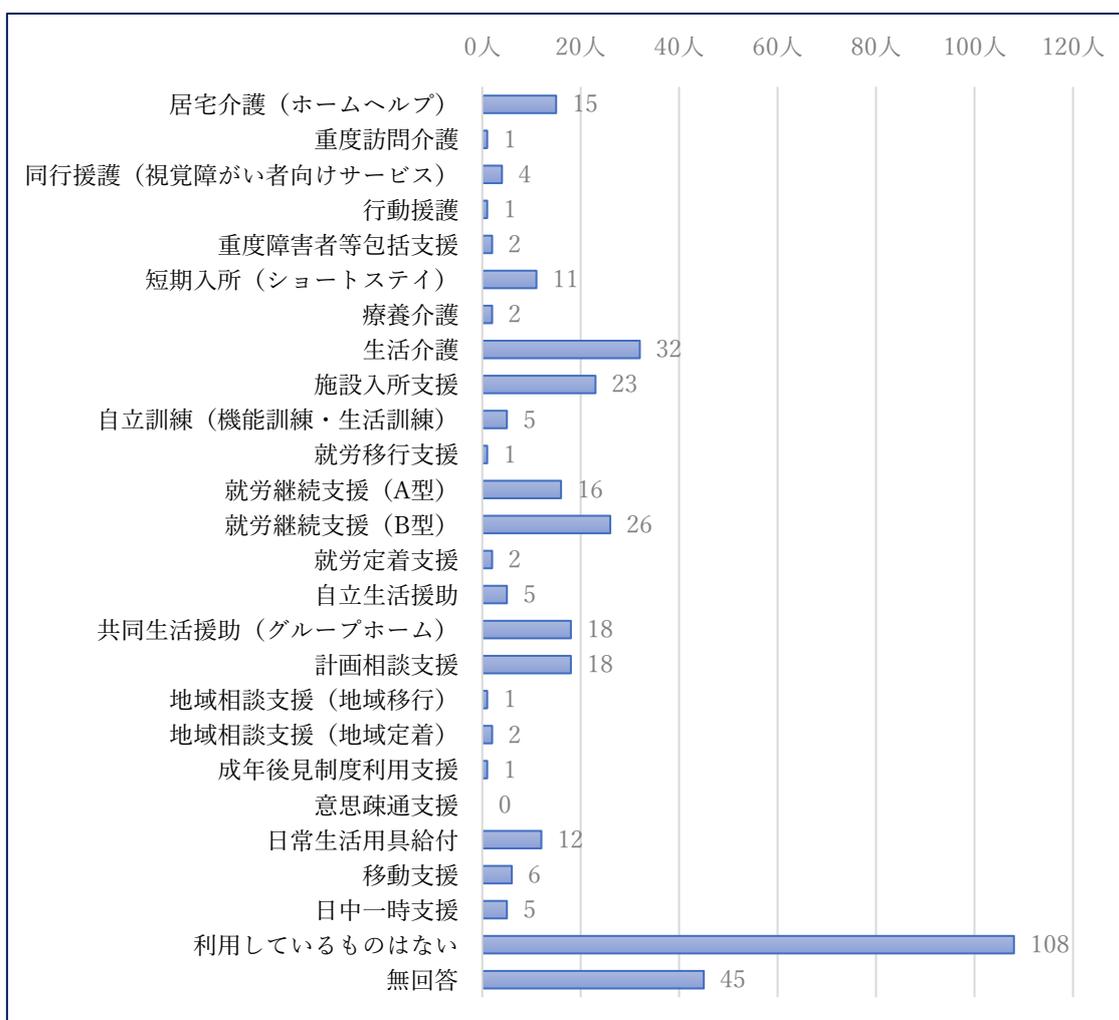
〔8〕 障害福祉サービスの利用について

※18歳以上の方への質問

①現在、どのような障害福祉サービスを利用していますか。また、今後（3年以内に）利用を希望しますか（N=266）

※複数回答あり

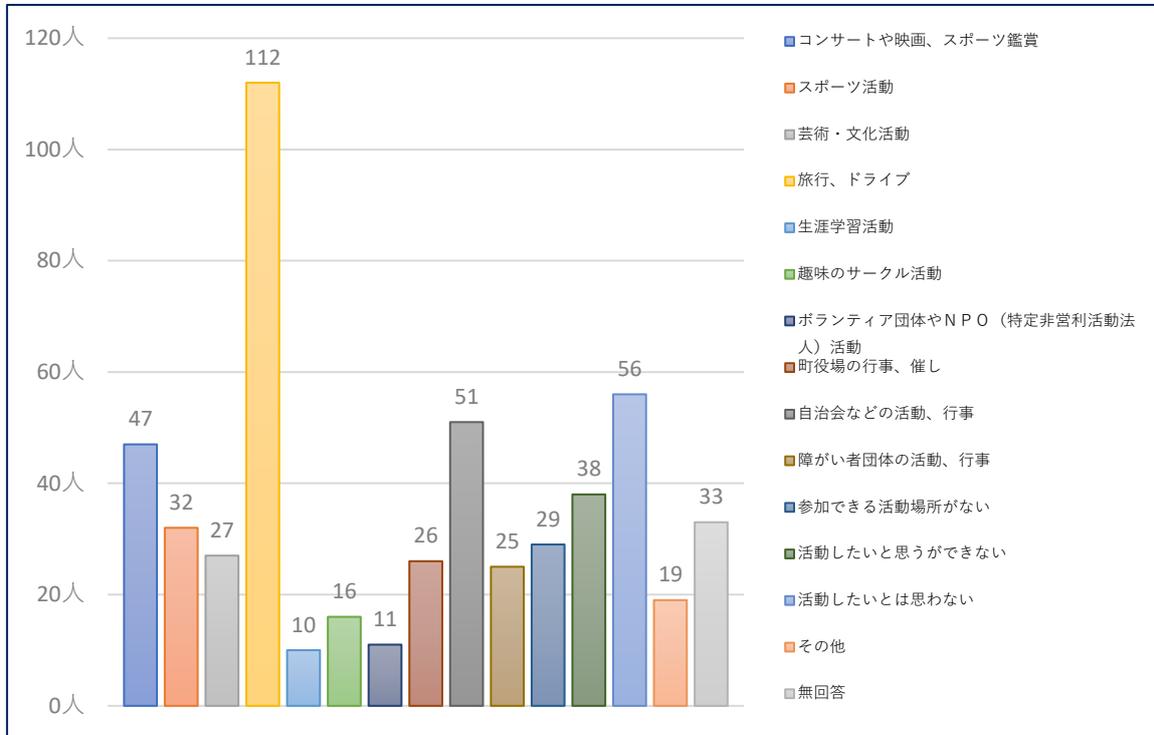
○現在、利用中のサービス



〔7〕社会参加等について

①この1年間に、あなた（本人）は、趣味やスポーツ、芸術文化活動等の社会参加をしましたか（N=329）

※複数回答



その他の内容

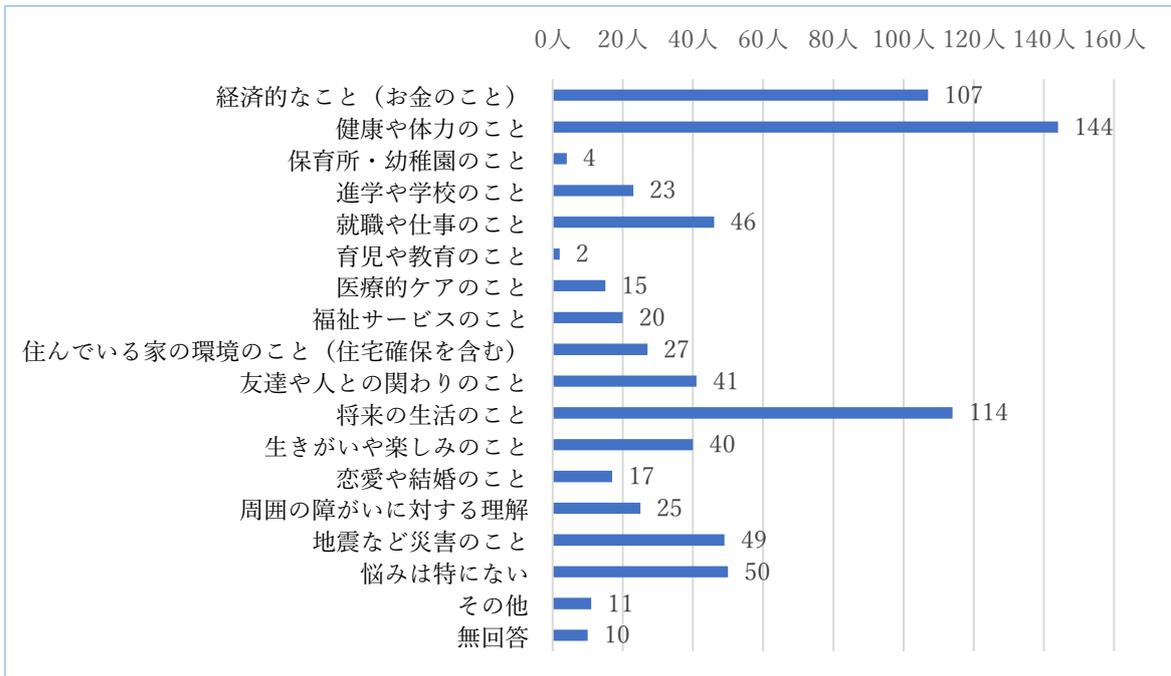
- ・ 見守り
- ・ カラオケ
- ・ PTA 役員
- ・ 楽器の習い事
- ・ やる気が起きない
- ・ 地元での行事を希望します
- ・ 参加なし
- ・ よくわからない
- ・ 知らなかった
- ・ 入所施設においてサークル活動などあり
- ・ 歩行困難のためできない
- ・ 腰が痛くてスポーツができない
- ・ どうしてもお金がかかりからあまりできない
- ・ 同行援護、同行介助が無いため参加したくてもできないのが現実。毎日の生活に追われ、休日に主人にお願いしにくい。
- ・ 朝9:30～夜7:15まで1日立ち仕事をしています。時間がありません

○本人に確認しながら回答しましたがほとんど首をかしげるようなことばかりで、内容が難しいと思われる。

○カタカナにもふりがなを入れてほしいという意見を反映していただきありがとうございます。おかげで娘と一緒にアンケートに回答することができました。この意見欄も広がっています。日々の言いたいこと思うことは山のようにあるのですが、その一部をこのような形で行政に届けることができると思うと少し不安が和らぐような気がします。娘の療育に同行していると、この一年、行政関係の方をお見かけすることが増えているように感じます。行政の方が現場に足を運ばれ状況を把握されていることを心強く思います。問27「普通学校」という言葉、初めて聞きました。差別的な言葉に感じられます。次回は別の言葉に代えていただきたいです。アンケートはホームページに乗せてほしいです。そこから誰でも見られるように。全国には結果まで乗せている市町もあります。何よりオンラインで回答できるようにしていただきたいです。目や指先など、動かせる身体の部位がわずかな方でも回答が可能になります。また障がいのある子ども達にとっては ICT の活用がなくてはならないものになっており、教育現場ではアンケートをオンライン上で答えることは当たり前のことです。紙に記入するかオンラインで答えるか、選べる環境を作ってほしいです。アンケートの回収率も上がるでしょうね。

〔3〕 悩み事・困りごとについて

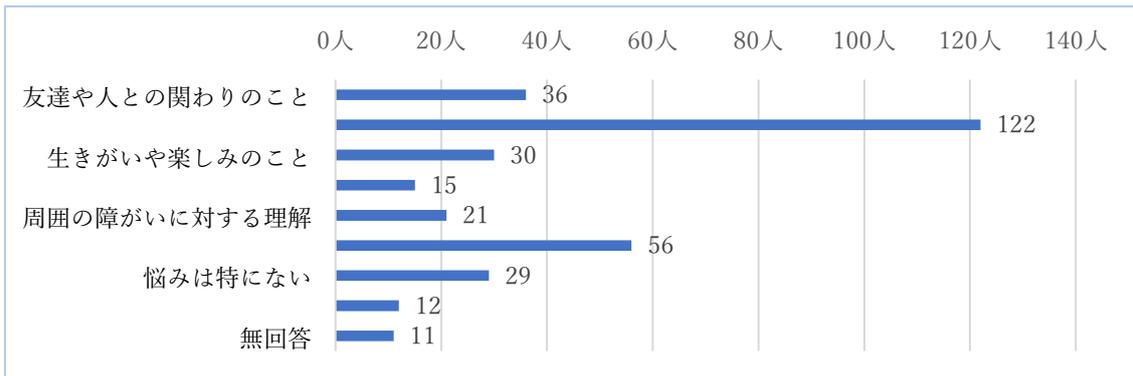
①現在の悩み事（N=329） ※複数回答あり



その他の内容

- ・ わからない
- ・ 家族のこと
- ・ 親の介護
- ・ 父親の健康
- ・ 同居家族の高齢化
- ・ 通院している病院が遠い
- ・ パートナーがいなくなることへの不安（家事・育児）

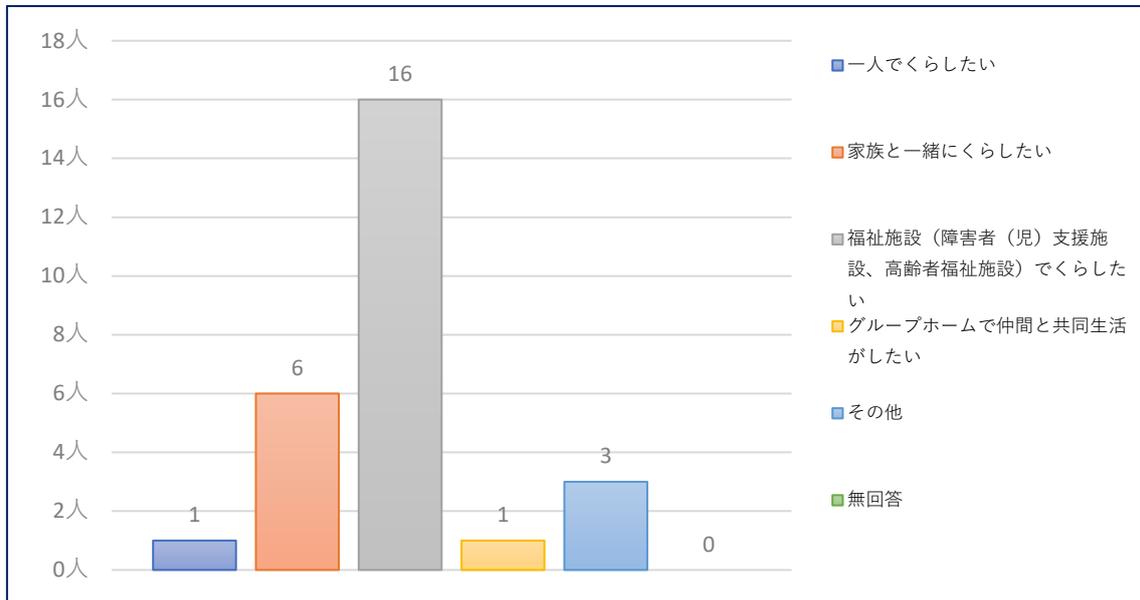
②将来について、不安に思うこと（N=329） ※複数回答あり



その他の内容

- ・ コロナ感染
- ・ 家事・育児
- ・ 通院
- ・ 父親の健康
- ・ 家族のこと
- ・ 親の介護
- ・ 親の死後のこと
- ・ わからない

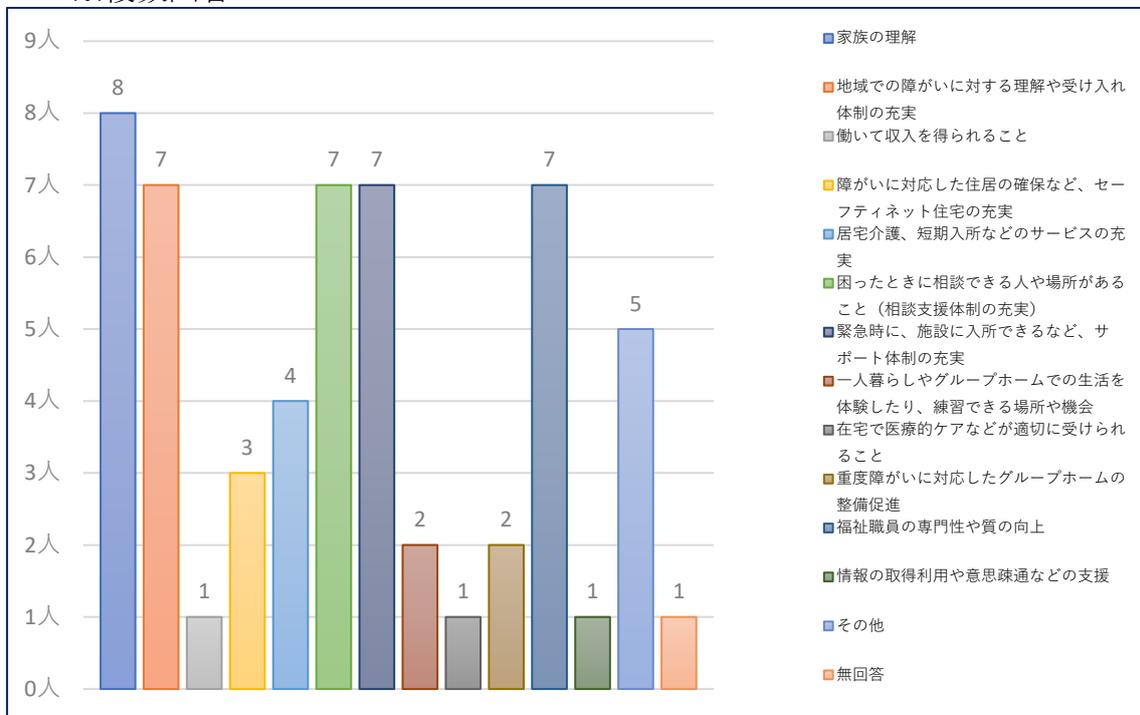
③今後、どのように暮らしたいか (N=27)
 (障がい者(児)支援施設と答えた方への質問)



その他の内容

- ・ わからない

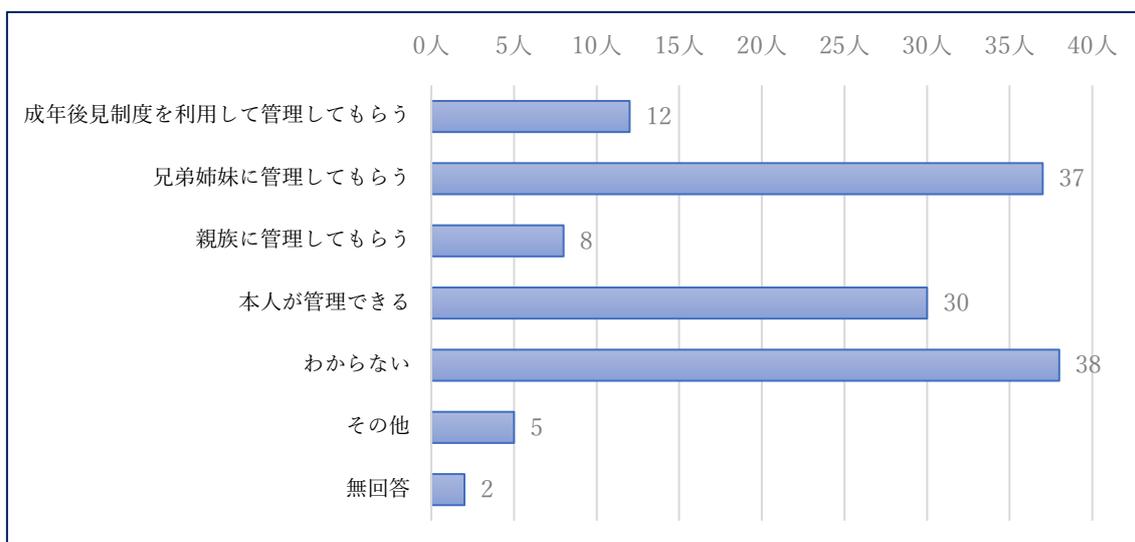
②施設以外で暮らすためには、どのような支援があればよいか (N=27)
 ※複数回答



その他の内容

- ・ わからない

③親亡き後のお子さんの金銭管理等についてお伺いします (N=132)



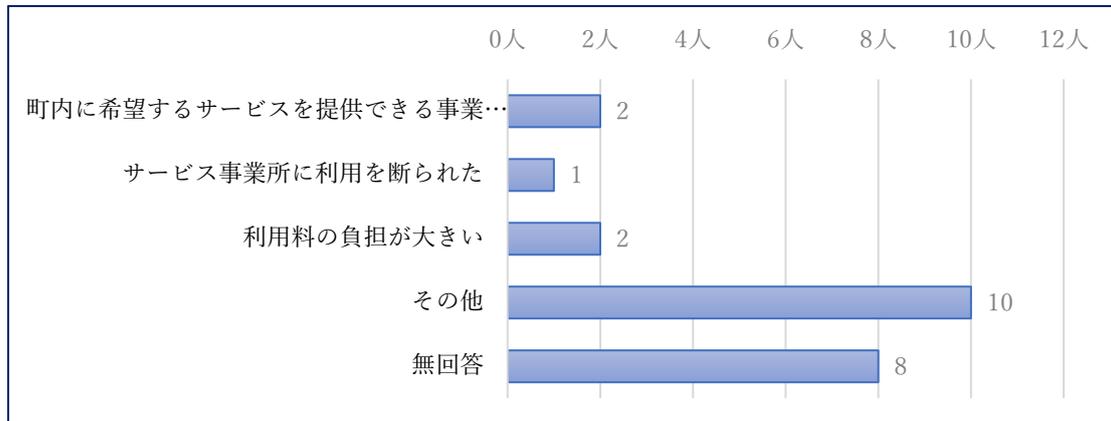
[12] 障がい者福祉計画策定に伴うアンケート調査結果 (自由記載欄)

【子どもの事】

- 子どもの療育の場が全く充実していません。個々の状況に応じて長所を伸ばして短所を補えるようにトレーニングできる場所があれば良いと思います。専門的な人が少ないです。以前、愛南町の放課後デイなど利用・見学しましたが、子どものどこを伸ばそうとしているのか伝わってこなかったです。今は生きづらい社会になっているので小さい頃からトレーニングして社会に適応できるように成長させてあげることが必要だと思います。発達障がいは克服できるし、障がいがあってもレベルを軽くできると思っているし克服した人の話も聞きます。障がいのある子に対して成長するための個々にあった計画、実施できる場が身近にあって欲しいです。
- 以前住んでいた街では支援が少なく、心ない言葉をかけられることも多く自分たちがいけないのだと落ち込むことも多かったです。愛南町は色んなところで出会う方、サポートして下さる方が皆さんとても温かく毎日しんどい中でも頑張れる支援が整っているなどおもいます。1つ要望をさせて貰うと発達障がいを持つ子の兄弟も気軽に一時預かり保育にあずけられるよう一時保育の園を増やしたりしてもらえたらとても助かります。
- 障がいのある10代の子ども達の相談場所がほしい。できれば個別で。子ども達が気軽に入出りできる相談所、相談員がいるいと子ども達も安心できるのではないのでしょうか。障がいの重度、軽度に関係なく学習支援や放課後デイサービス利用ができる、または場所を充実して、小中学生だけではなく、若年層の子ども達の居場所を作っていただけたら嬉しいです。障がいが原因で学校へ行きにくい子ども達の支援学習や行動スキル、働くにはどうすればいいの

※①又は②で「利用しているものはない」と答えた方への質問

③現在、サービスを利用していないのはなぜですか (N=32)

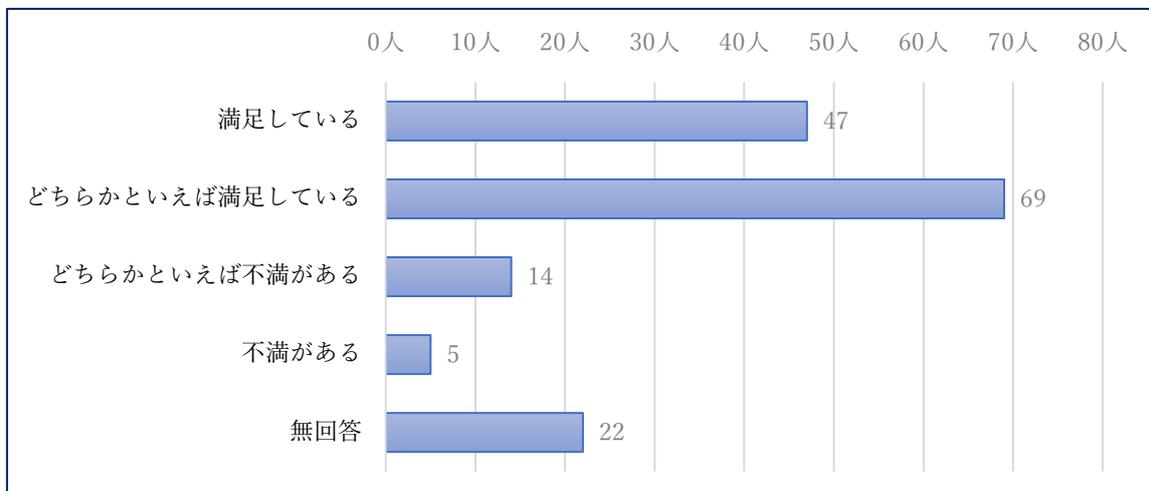


その他の内容

- ・ わからない
- ・ 人と会うのが苦手
- ・ 家族に協力してもらっているから
- ・ サービスを知らない
- ・ 高齢者福祉施設入所中
- ・ 仕事が忙しいので時間がない
- ・ 役場の人に「あなたは利用対象外だと思う」といわれて
- ・ 持病にともなく、症状が年々増えてきて、いっしょに活動しにくい

※①又は②で「利用しているサービスがある」と答えた方への質問

④利用しているサービスに満足していますか (N=157)



か?など学べる施設がほしい。

○特に今、不安に思っていることは**児童クラブ卒業後の我が子をどうしよう**ということです。保育所にも、理解のない先生がいます。障がい故に食べられない物がある、という特性を理解できないのでしょうか。「給食を食べないことは、わがままだ。」と言うそうです。しかも偉い先生です。しかし多くの現場の先生は向上心を持って日々学んでおられます。一人一人の特性に合った保育を提供して下さっているのに、偉い先生の一言でそれを潰されるような環境にあるのでは、と不安です。学校の支援員も採用の幅が広がり、増員されてありがたいですが、学校教育課はその方々への研修を行っていません。定期的な研修の場、悩みを語り合い解決に向けたアドバイスをもらえるような時間が必要です。それがなかったためにトラブルを起こしてしまい辛い思いをする支援員もいます。その際の保証も用意されていないのではありませんか。採用されたは良いが安心して仕事が継続できない環境は誰の特にもならないですよね。愛南町の障がい福祉を取り巻く環境はもっともっと努力すべきことが多いです。だからこそ、**発達支援センターの話は絶対に潰させません**。そのために声を上げる準備ができている保護者は沢山います。必ず、当事者、子ども、保護者の意見を取り入れてください。私たちは愛南町の行政の動きを見ています。障がい児へのサービスについて。数が少ない質は低い、満員で利用日数を増やせない、が何年も続く、良いところは見当たりません。それでも現場で踏ん張っているスタッフの方々に応援の手が届いているのでしょうか。

【サービス等について】

(1) サービスの充実・拡充

- 土日に用事があっても本人(当事者)を見てくれる所がなく、困っています。事業所に通っていても、始まる時間が遅く終わる時間が早かったり、送迎の関係で他の兄弟の参観日やPTAの集まり、進路説明会、体験入学など、途中で抜けたり、参加出来ないことがとても多いです。仕事であれば休みを取れますが介護はそうもいかず困ってます。
- 使いたいサービスが利用できない。せめて必要最低限のサービスが町内でも利用できるようなお力添えいただきたいです。
- もっと福祉サービスを充実して欲しいです。お金をもらうことが仕事ではなくて相談ではなく本人に寄り添って親身に聞いて欲しい。
- 介護保険のお年寄りの利用する施設は多くあるように感じますが40歳以下で利用できる施設が1カ所しかなく、登録していても予約さえ出来ない状態です。介護してくれている親も年を取り体力も限界に近い中頑張ってくれています。今の施設状態だと何かあったときにすぐに利用できない。また介護者の

南町になってほしいなと思います。そんな愛南町になれば親としては安心して子育てができますしそのために自分も力になれるよう頑張ろうと思います。福祉サービスが拡充して、障がいに対する理解が広がると良いなとは思いますが、事業の拡大に力を入れすぎず人材の確保、質の向上を補いながらにしてもらいたいなとも思います。親は無知です。子どもの支援とともに何も知らない親にどんな支援が子には必要なのかどんな手続きがいるのかなど教えてもらい親も含めた支援があると助かります。

【社会参加等】

- 情報不足のため、現在把握できていないが、障がい者や健常者が共に集い話ができる場所、何かの活動が行えるような場所（できれば居場所）があれば有り難いと思う。
- 意見ではありませんが、障がい者の方の会委員にはなっていますが、なかなかイベントには参加出来ていません。日常で手伝いしていますし、最近歩行困難が進んでいて難しいし、家族にも身障者おられます。社会活動の参加と現実には厳しいものです。このようなアンケートで把握していただけるのはありがたいことです。ありがとうございます。ただ、日常生活がいっぱいですが、前向きに考えて引きこもりがちな自分を見直せる努力はしていきたいと思えます。
- 家族以外とのコミュニケーションが苦手です。家族とばかりなのでトラブルになることも多い。気軽にお話ができる場所が欲しい。（例えば、週に1, 2日オープンスペース的なところ）ちょっとお茶でも飲めたら嬉しい。

【権利擁護・理解促進】

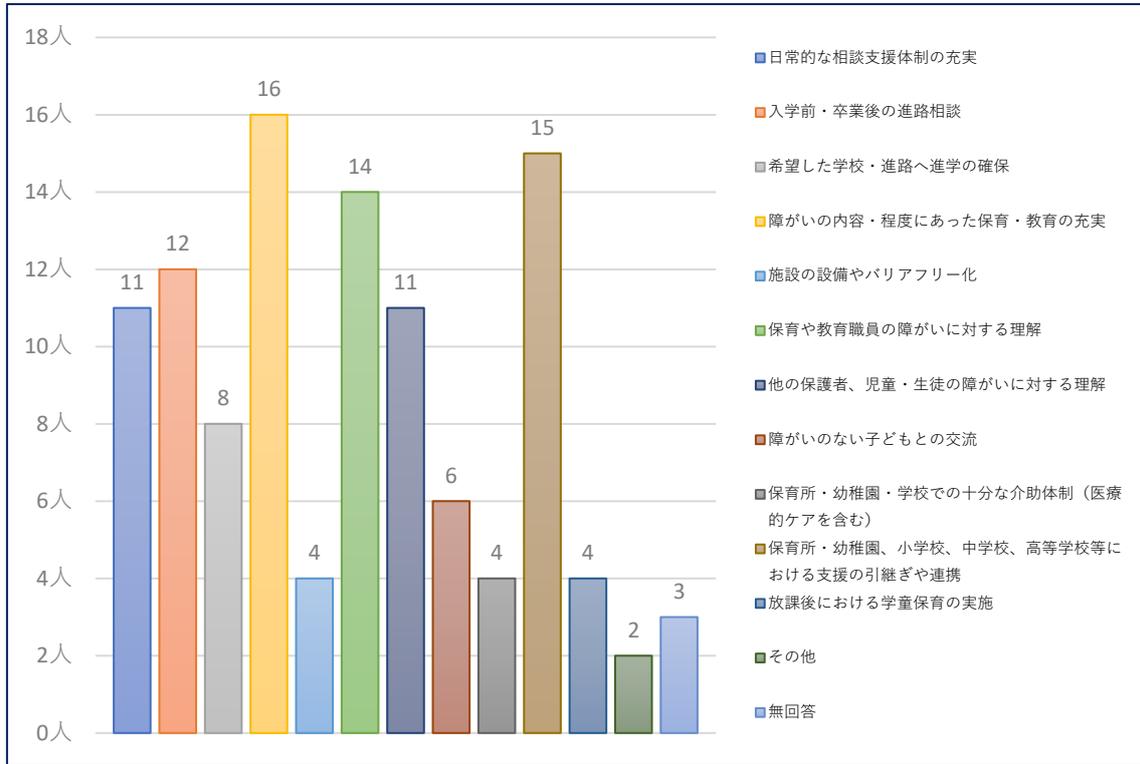
- 小さなことですが、スーパー等の障がい者用駐車スペースが空いていないことが増えました。これは行政の仕事ではないけれど**健常者の意識改革が必要**だと思います。
- 自治体への要望ではありませんが、スーパーその他の（障がい者用）**駐車場への理解をまだまだ徹底してほしい。**
- 障がい者の家族である私（記入者）でさえ障がい者を特別な目で見ってしまう現状にある。理想論かもしれないが、**障がい者が当たり前**に存在する社会になってほしい。そのために行政は何ができるのか何をすべきかそれを考えていただきたいと思う。
- 学校の行事で障がいのある子が知らない大人に悪い意味で笑われていました。なので**普通学級**の子ども達には障がいのあることについて教えてあげられる

身体障害者手帳の交付状況

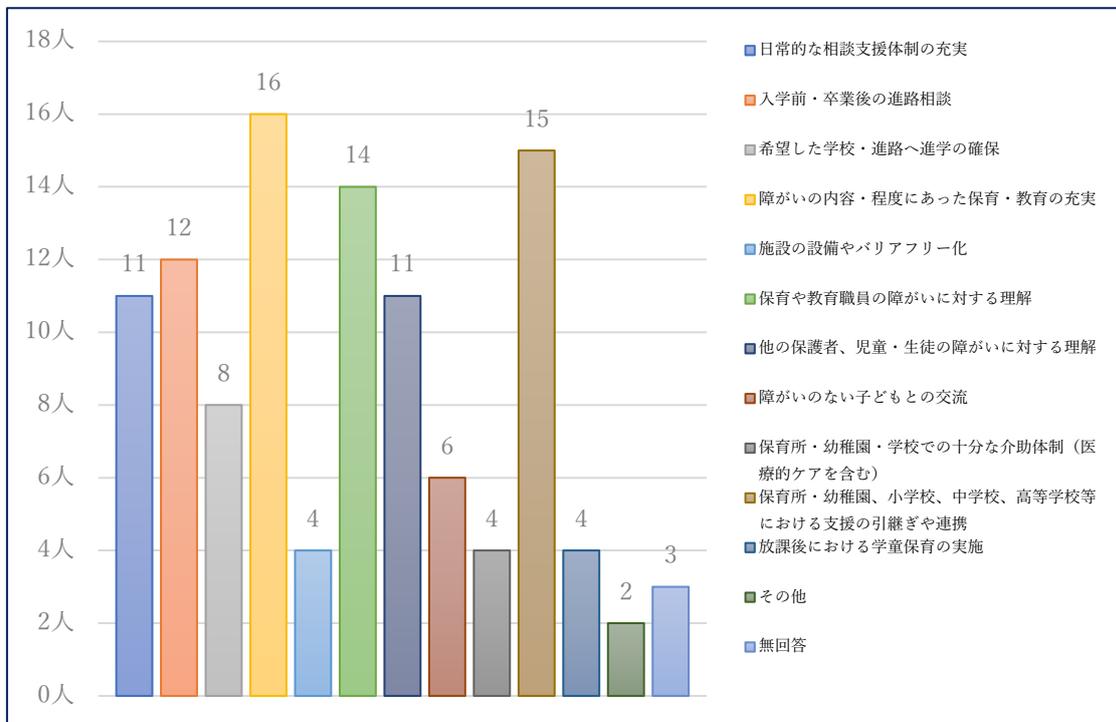
令和5年4月1日現在

	年齢層	1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計
視覚障がい	0歳－17歳	0	0	0	0	0	0	0
	18歳－39歳	0	0	0	0	0	0	0
	40歳－64歳	3	4	0	1	2	0	10
	65歳－	22	22	3	7	2	3	59
	計	25	26	3	8	4	3	69
聴覚・ 平衡機能	0歳－17歳	0	2	0	0	0	0	2
	18歳－39歳	0	2	0	0	0	0	2
	40歳－64歳	1	3	1	3	0	1	9
	65歳－	1	10	5	11	0	15	42
	計	2	17	6	14	0	16	55
音声・ しゃく ・ 言語	0歳－17歳	0	0	0	0	0	0	0
	18歳－39歳	0	0	0	0	0	0	0
	40歳－64歳	0	0	1	0	0	0	1
	65歳－	0	1	4	0	0	0	5
	計	0	1	5	0	0	0	6
肢体不自由	0歳－17歳	0	1	0	0	0	2	3
	18歳－39歳	12	2	0	2	0	0	16
	40歳－64歳	24	24	11	14	17	4	94
	65歳－	68	96	38	97	32	16	347
	計	104	123	49	113	49	22	460
内部障がい	0歳－17歳	1	0	0	0	0	0	1
	18歳－39歳	2	0	5	1	0	0	8
	40歳－64歳	32	0	3	9	0	0	44
	65歳－	176	1	38	66	0	0	281
	計	211	1	46	76	0	0	334
合計	0歳－17歳	1	3	0	0	0	2	6
	18歳－39歳	14	4	5	3	0	0	26
	40歳－64歳	60	31	16	27	19	5	158
	65歳－	267	130	88	181	34	34	734
	計	342	168	109	211	53	41	924

③お子さんの保育・教育環境について希望すること (N=40)
※複数回答



④望ましい教育環境について (N=40)



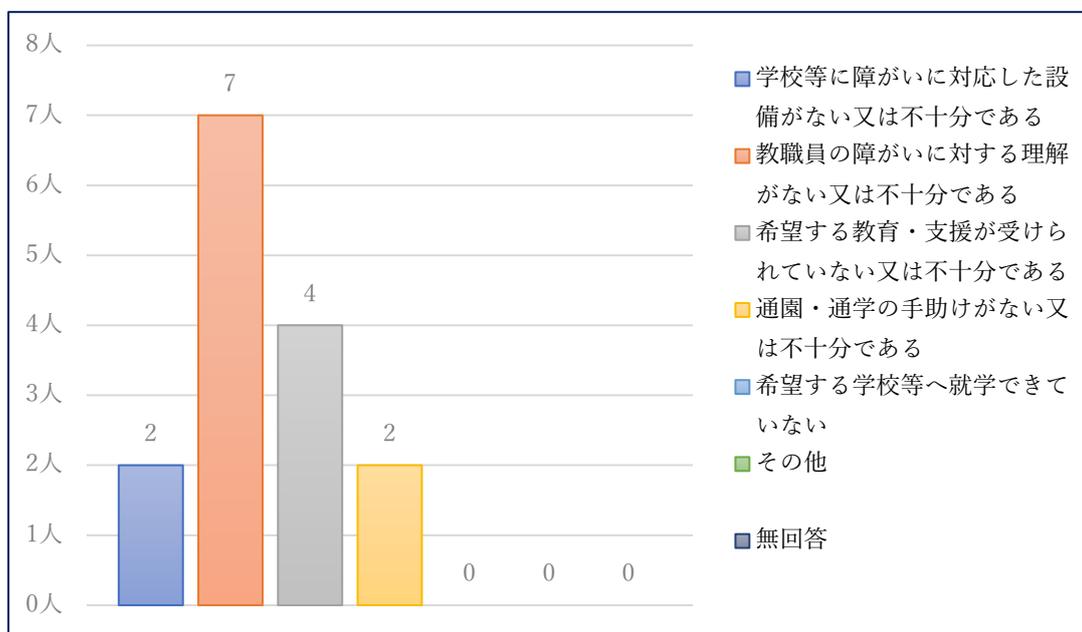
その他の内容

- ・地域の学校の通常学教においてできるだけ専門的な教育やサポートが得られる環境。

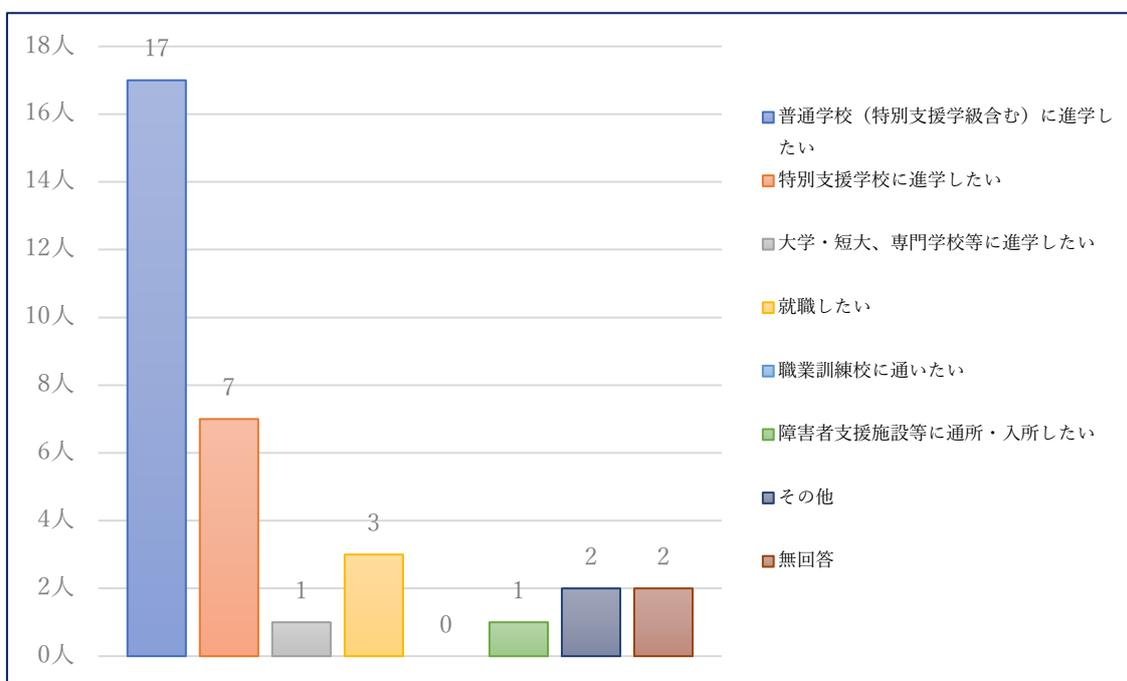
※⑥で「3 どちらかといえば不満がある」「4 不満がある」と回答した方にお伺いします。

⑦どのような点に不満がありますか (N=8)

※複数回答あり



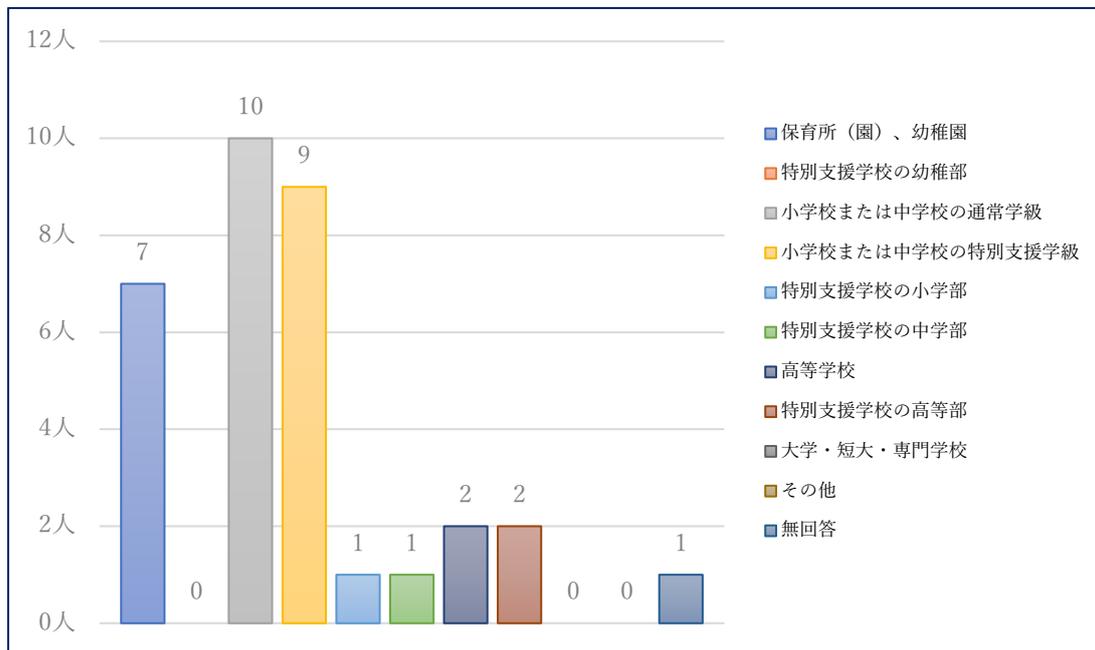
⑧卒業・卒園後の進路について (N=33)



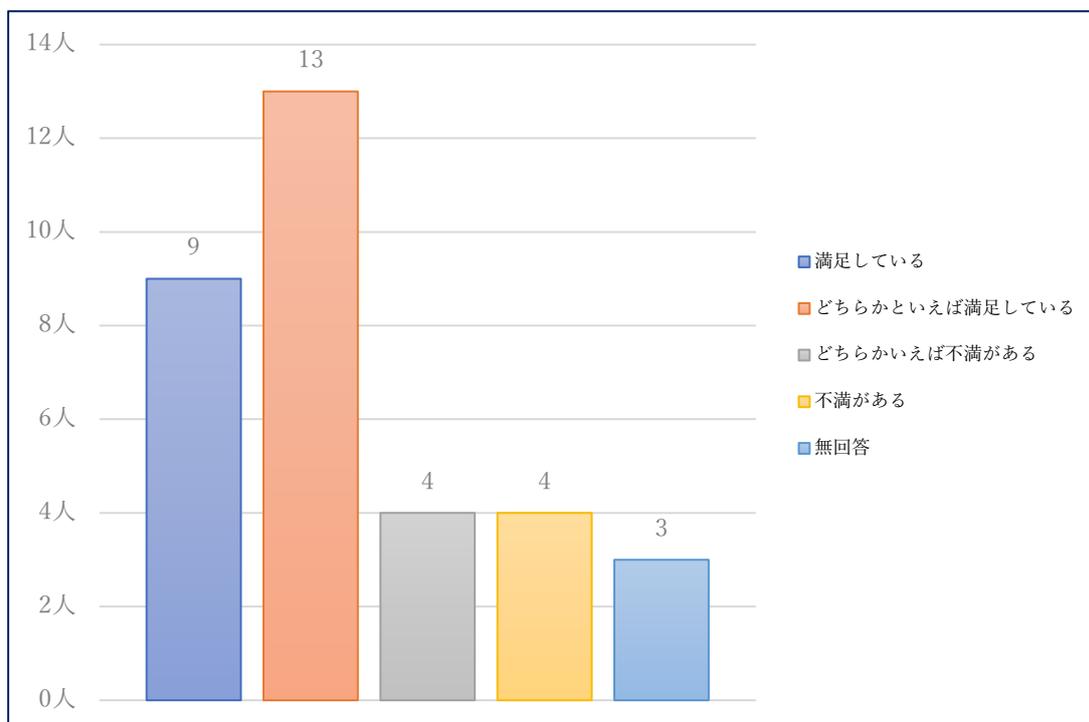
その他の内容

- ・ 普通学校（特別支援学級含む）か特別支援学校どちらか本人に会う方を選びたい
- ・ わからない

⑤通園・通学中の学校・学級等について (N=33)

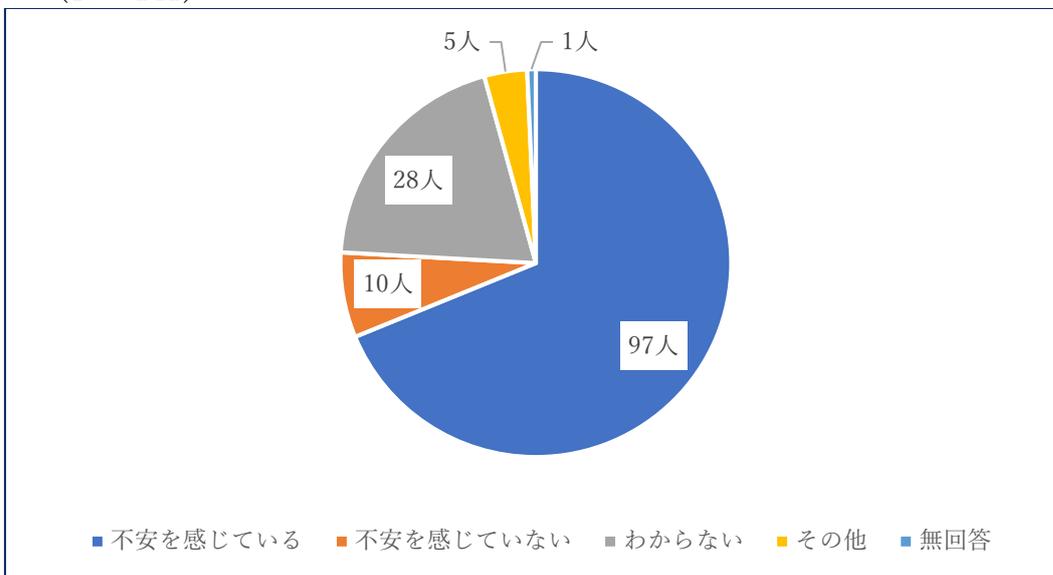


⑥学校等の教育や支援、配慮は満足していますか (N=33)



〔11〕 親亡き後について

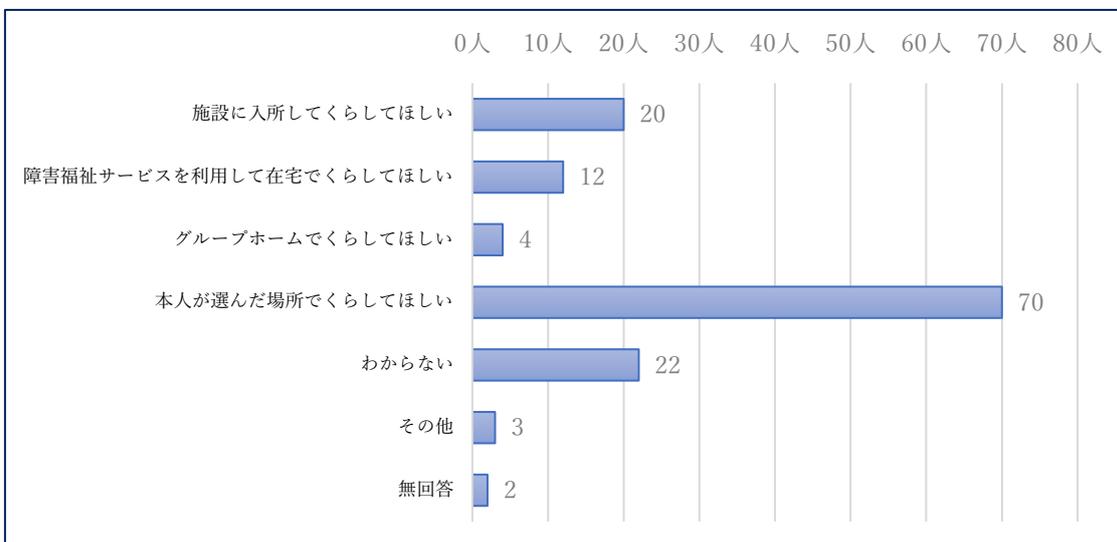
①あなた（保護者）は、親亡き後のことを考えたときに不安を感じていますか
（N=141）



その他の内容

- ・ もう親は亡くなっている
- ・ 特に日々不安を感じないようにしている

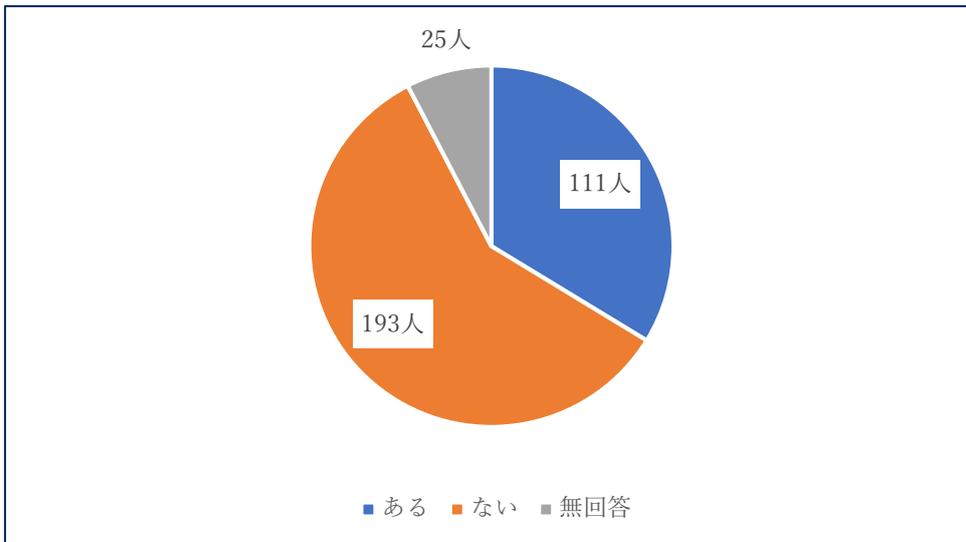
②親亡き後のお子さんの生活場所についてお伺いします（N=133）



その他の内容

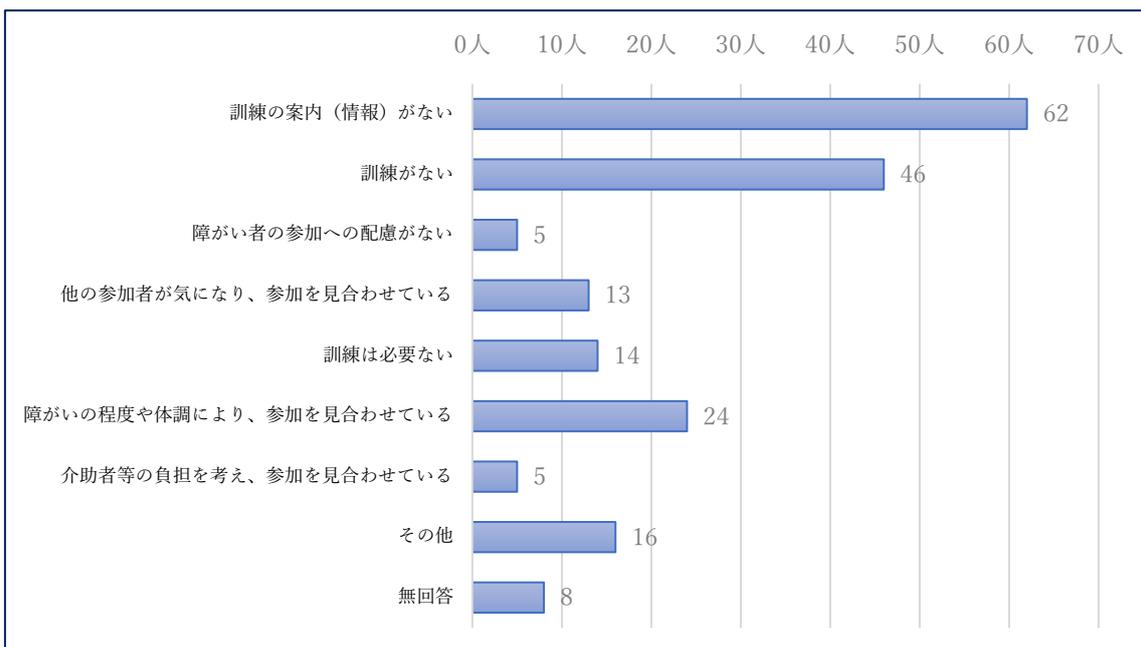
- ・ 自宅
- ・ 入所している
- ・ 子どもはいない

②これまで地域の避難訓練に参加したことがありますか (N=329)



※②で「ない」と答えた方への質問

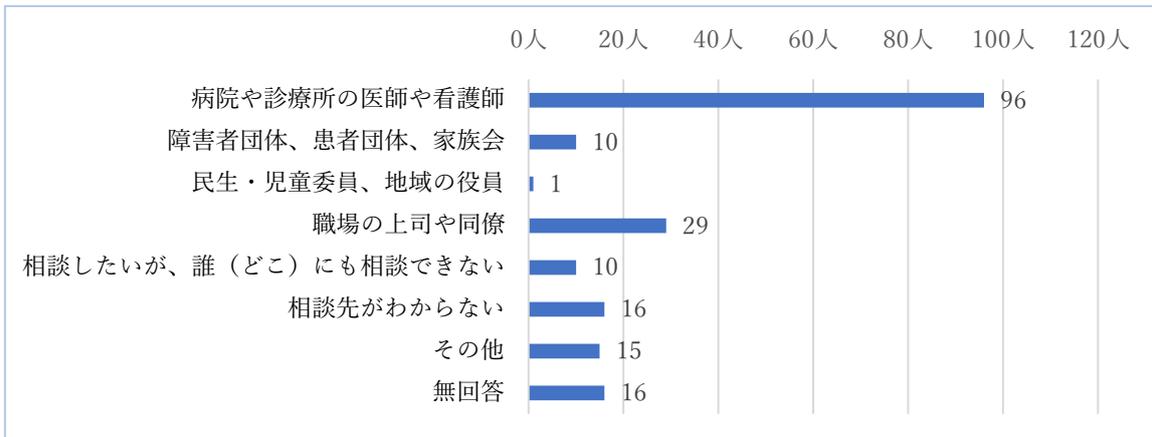
③訓練に参加したことがない理由は何ですか (N=193)



その他の内容

- ・ 体力が無い
- ・ わからない
- ・ 死んでもいいから
- ・ 入所施設が愛南町所在ではない
- ・ 人との関わり合いができない
- ・ 保育所で避難訓練している
- ・ 施設の訓練をしている
- ・ そこまで思う暇がない
- ・ 車椅子なのでできない
- ・ 仕事に行っているから
- ・ 訓練の案内があったかもしれないけれど目にしたり耳にしたことがない。
- ・ 今の状態になって自宅で過ごすのはまだ半年である。

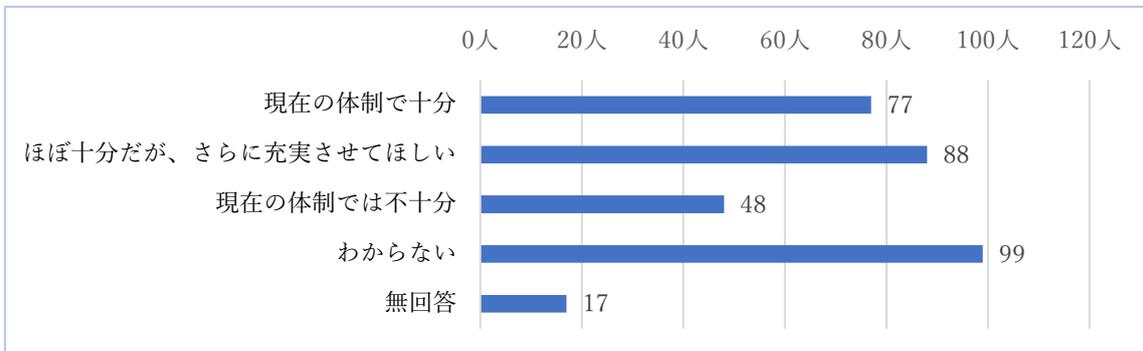
③困りごとの相談相手（N＝329） ※複数回答あり



その他の内容

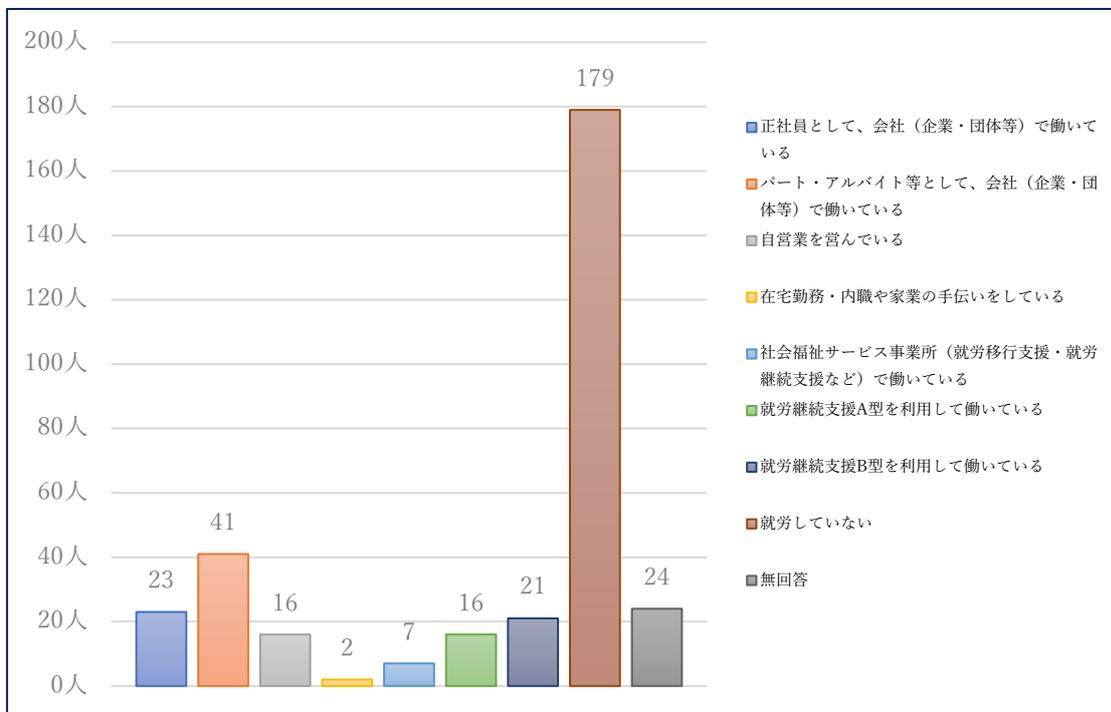
- ・ 保佐人
- ・ 施設職員
- ・ あまり深くは話せない
- ・ ほとんどしない
- ・ ヘルパー・ケアマネ
- ・ 意思疎通困難
- ・ わからない
- ・ 他に相談する所がわからない
- ・ グループホームの職員さん
- ・ 作業所のスタッフ
- ・ 学校の先生
- ・ 相談するつもりなし。障がい者と一緒の社会などと役場が言ったからひどいめにあった。ウソはやめる。

④福祉や生活に関する相談体制（N＝329）



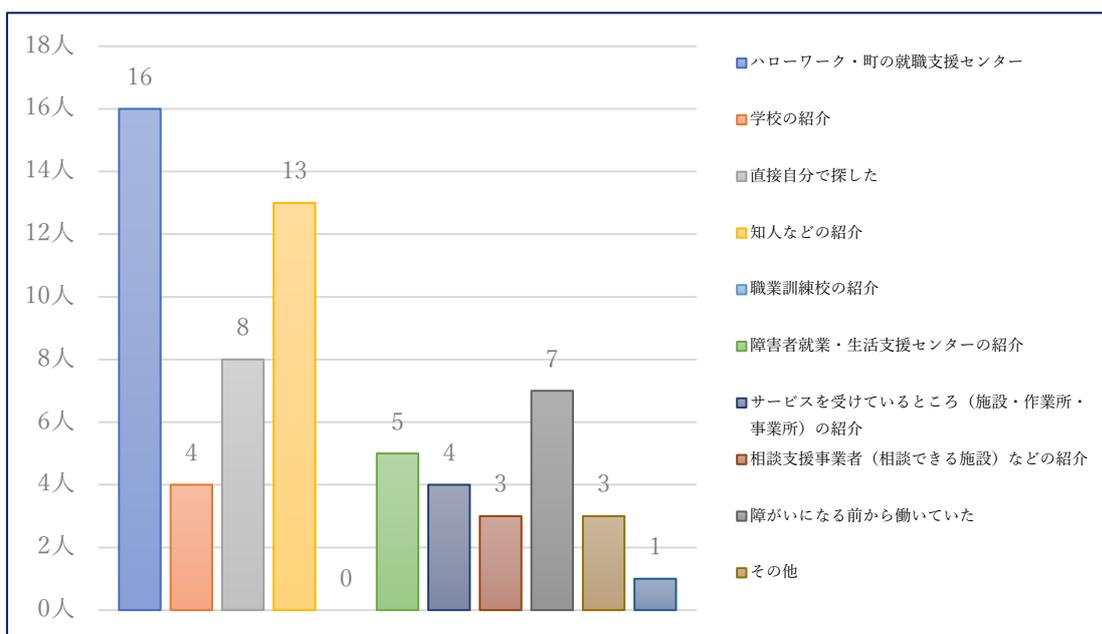
〔6〕就労について

①日中に仕事をしていますか（N=329）



※①で「1 正社員として会社（企業・団体等）に勤めている」「2 パート・アルバイト等として、会社（企業・団体等）に勤めている」と回答した方にお伺いします。

②どのようにして見つけられましたか（N=64）



その他の内容

・ 元職場

・ 親の紹介

少しの休息のために日中一時支援を利用したいが人手不足とエアマットが無い
ため利用できず、困っています。

(2) 親亡き後について

○私は障がい者ですが親戚亡き後一人になります。一人になったとき色々な
ことで不安を感じています。年金でやっていけるか不安ですので町の方で助け
てもらえるサービスがあればお受けしたいと思っています。

○8050 問題を視野に入れた行政の支援体制を整備して欲しい。

○親亡き後に安心して生活できる環境を障がい者に優しい町を作って欲しい。

○役場の方、B型支援作業所の方、皆さん本当によくしてくださってます。将来、
私たちがいなくなったら兄弟にお金は管理してもらって施設で暮らす、とき
どき様子を見に行ってほしいと考えてます。当面、福祉のサポートは福祉サー
ビスではないでしょうか。その人の家族の本当に助けて欲しいときに手を貸
して下さるサービスを今から考えて欲しいです。その他になるのかもしれま
せん。例外について、という項目であるとか、見守り、手助けという形でサー
ビスの形を考えて欲しいなと思いました。ハンデのある人が本当に助けてい
ただけるサービス、その方々助けて下さる方の信頼できる適用性、人となりは、
見抜くことは難しいですが、私たちはみて下さる方に委ねる方なのでこの人
をお願いします。あの人はいけませんとは言えません。でも声を上げて、意見
を述べることは大切です。そのように思います。見守りサービスという形であ
ったり、何か違う文面ですが、内容はいっしょにいてくれる人なんです、そ
のようなサービスを考えて欲しいと思いました。

(3) 移動について

○介護タクシー券は本当にありがたいが4か月で使い切ってしまう全額自己負
担だと往復7千円近くかかり、収入がない人にとっては支払えず通院に困っ
ている。今は両親で運んで自家用車に乗っているが、寝たきりの人を車に運ぶ
のはかなりの体力を使うようで他の家事に手が回らないのが現状です。せめ
て移動の手伝いをしてくれる人がいたら良いが、そのサービスも今は人手不
足でないとのこと。救急車を呼ぶほどではないが緊急で受診したいときに片
親しかおらず受診できずに悪化したこともある。

○私の所は愛南バスがありません。週3回を南宇和病院まで通っています。いつ
まで車で行けるかわかりません。

○就労は宇和島の作業所を利用しているが送迎はあるが愛南町までは来てくれ
ないので待ち合わせ場所へは約1時間かかるので利用日には往復約4時間な

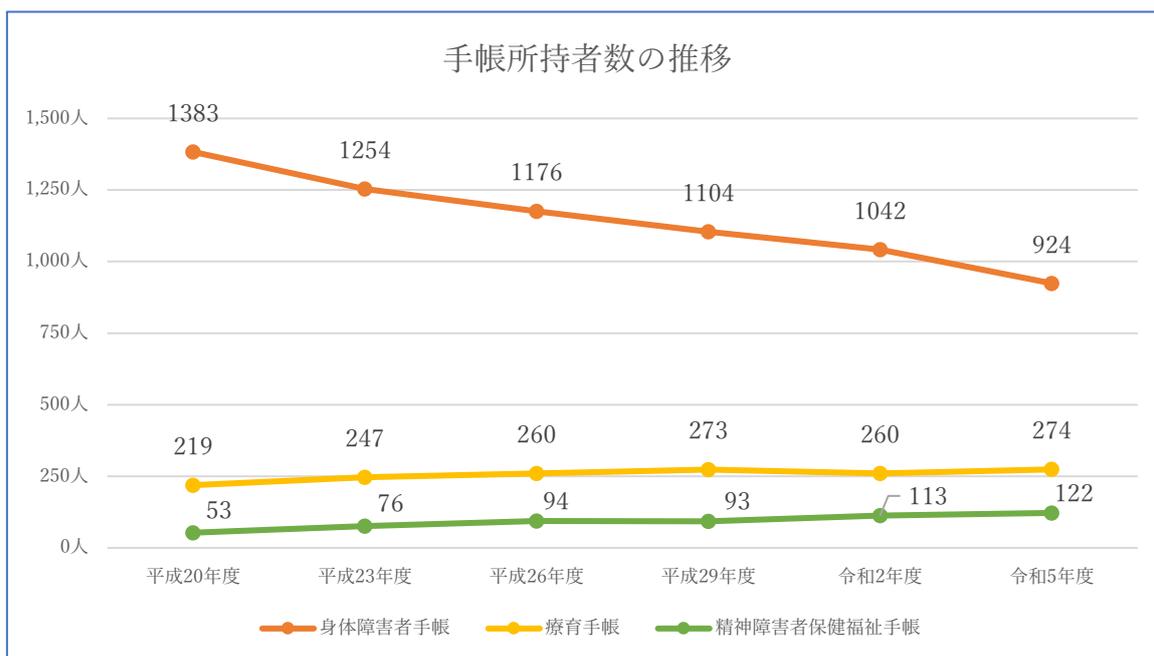
2 障がいのある人の状況

(1) 障がい者（児）の推移（障害者手帳所持者等）

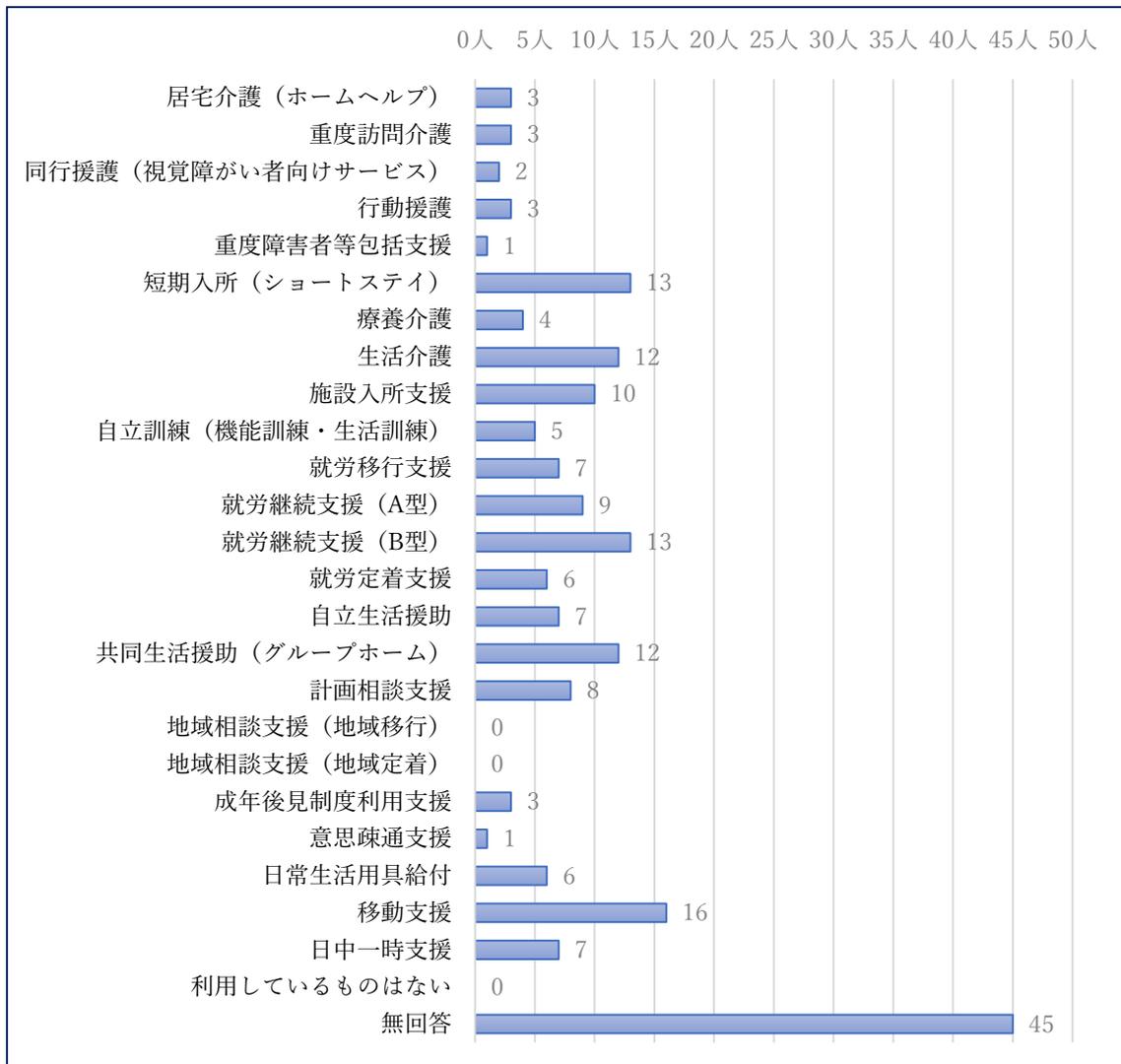
（基準日 4月1日）

区 分		平成 20 年	平成 23 年	平成 26 年	平成 29 年	令和 2 年	令和 5 年
身体障害者手帳	1 級	449	440	323	395	379	342
	2 級	281	246	237	209	190	168
	3 級	188	147	205	127	122	109
	4 級	278	272	271	251	255	211
	5 級	104	88	77	71	56	53
	6 級	83	61	63	51	40	41
	計	1,383	1,254	1,176	1,104	1,042	924
療育手帳	A	106	117	111	105	101	96
	B 1	78	75	79	85	73	74
	B 2	35	55	70	83	86	104
	計	219	247	260	273	260	274
精神障害者保健福祉手帳	1 級	10	23	18	16	16	15
	2 級	37	50	69	65	86	89
	3 級	6	3	7	12	11	18
	計	53	76	94	93	113	122
合 計		1,655	1,577	1,530	1,470	1,415	1,320

（H20、H23、H26、H29、R2、R5 は計画策定作業年度）



○今後、利用したいサービス（N=196）



でお世話になって助かってます。私は十分です。

【情報等】

- どのようなサービスが受けれるのか、当てはまるかが全くわからない。ホームページに掲載している場合は家にネットの環境が乏しいので本や紙だとありがたいです。
- 学校を卒業してからの生活の方がいずれ長くなってくるので卒業後に町に何があれば良いか当人や保護者を対象に意見交換をできる場を設けて欲しい。町内でも地域格差があるので住んでいる場所や障がいの程度によって生活の幅が狭くならないように力を貸してください。よろしくお願いします。
- 不安があるときに気軽に相談できる場所、どこに行けばよいかわからないので情報をもっと伝えてほしい。活動の場を増やしてほしい。
- 障がいと診断されても今後の見通しや方法、アドバイスや相談ができると言ったことが簡単にはできず親が色々な情報を収集することから始まります。自分たちで運良く収集できてその時期にサービスや支援を受けることができれば良いのですが、気がついたら「～をしておけばよかった」「～を知っていたらよかった」ということも多くあります。できれば、そういったことを少しでも、もしくは1か所で情報収集ができればありがたいです。特に保育時期は充実しているのですが、学童期になると療育や支援を受けるということも少なくなり情報収集をする場も限られてくるため一生を通じて見通し等が見える化されていると嬉しいです。
- 今、愛南町に障がい児・者が利用できる福祉サービスがどれだけあるのかわかりません。今は親も元気で生活をする上であまり不自由を感じてないので福祉サービスを調べてないということなのかもしれないですが今後どうなるかわからないので把握しておかなきゃいけないなとは思ってます。ただ、困ったときにサービスについて考えたりするのは遅いのではないかと思います。今、自分（親）が、病気で動けなくなったり、死んでしまったら子どもはどうなるのだろう。どんなサービスが使えてどんな待遇を受けるのか、子どもの特性は理解してもらえるのか心配ばかりです。これは極論ではありますが。前もってどんなときにどんなサービスが受けられるのかライフステージにあわせてどんなサービスが必要になるのかなど、見てわかるようなパンフレットや冊子があると良いなと思います。自分の子は知的障がいなのできっと一生支援が必要になります。親の私が最期まで見守り支えたいと思いますが、現実的には難しいです。そう思ってる親は沢山いると思います。障がいの有無は関係ないですが、誰もが住みやすい愛南町に、障がいがあっても住みやすい愛

3 障がい福祉に関するアンケート調査結果

本計画を作成するにあたり、障がいのある人の状況や意見等を把握するため、令和5年10月にアンケート調査を実施しました。

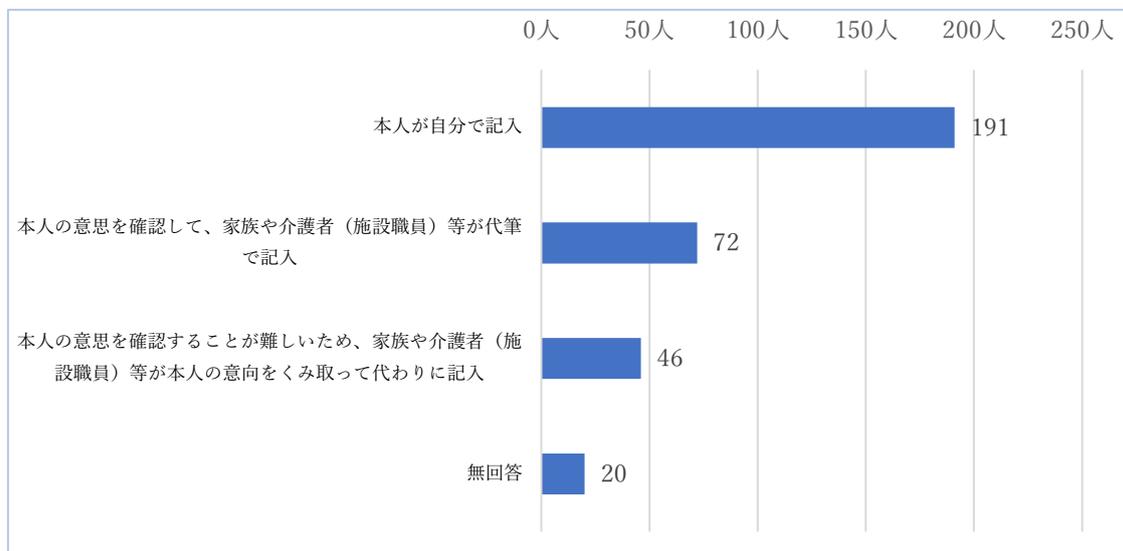
調査方法は、愛南町全域及び町外施設入所者（グループホームを含む）で身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療（精神通院）受給者、障害児通所支援事業利用者、難病患者の人のうち令和5年7月1日時点で70歳未満700名に調査票を送付し、返信用封筒にて回答を得ました。

回答者数は、329名で回収率は47.0%でした。

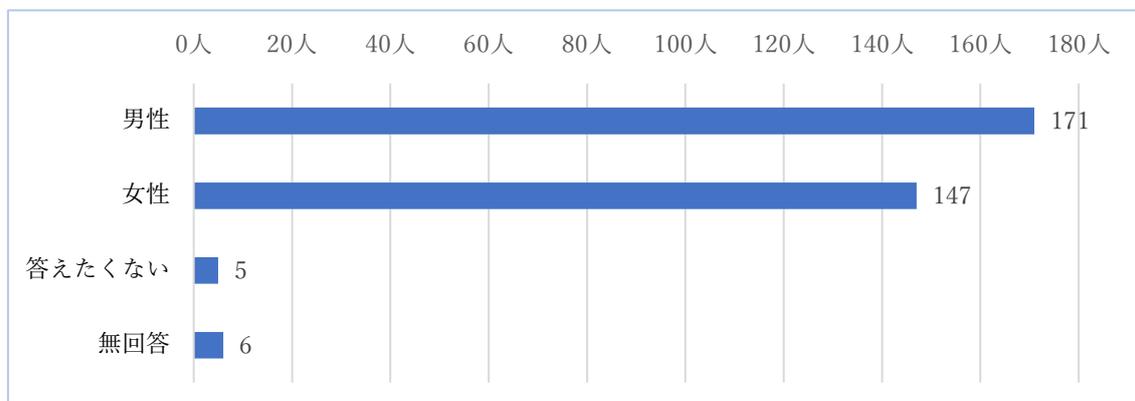
○アンケート回答者（329名）

〔1〕ご本人等の状況

①調査票の記入者について（N=329）

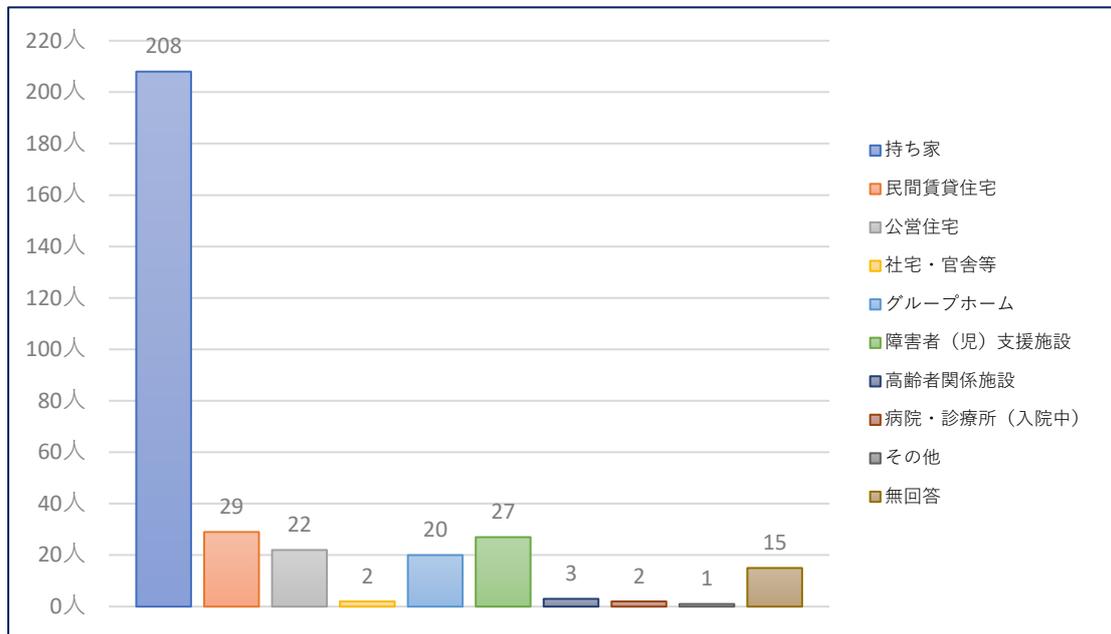


②性別について（N=329）



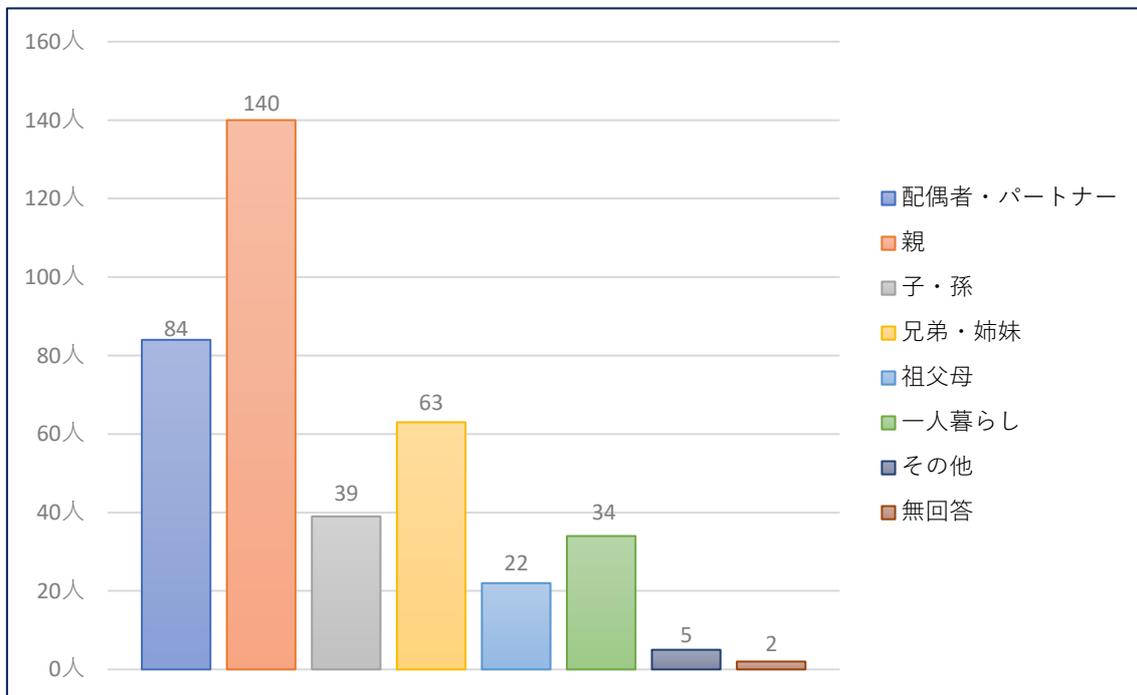
[4] 暮らしについて

①あなたが生活している場所について (N=329)



②誰と一緒に暮らしていますか (N=261) ※複数回答あり

(持ち家・民間賃貸住宅・公営住宅・社宅・官舎等と答えた方への質問)



その他の内容

・ いとこ

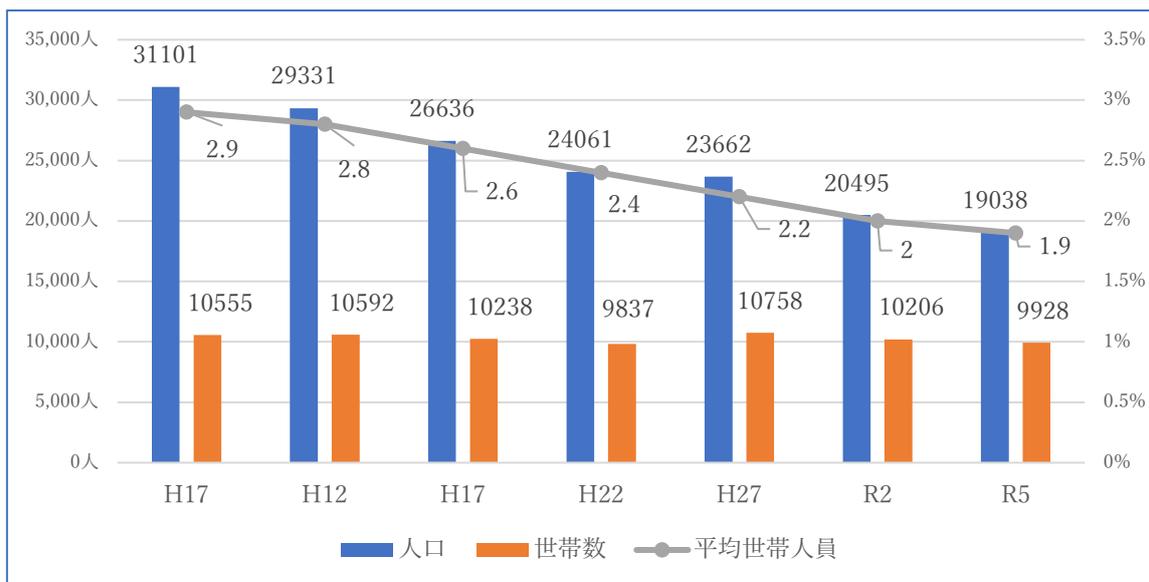
・ 伯母

第2章 障がいのある人を取り巻く現状

1 統計による愛南町の状況

(1) 人口・平均世帯人員の推移

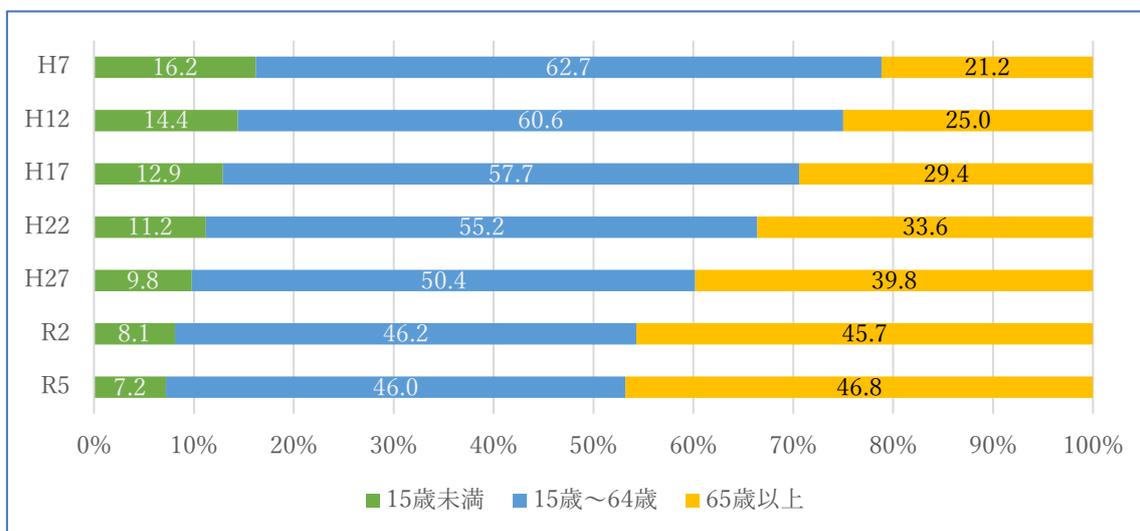
人口は昭和25年(49,359人)をピークに減少を続け、令和5年には19,038人となり、1世帯当たり平均世帯人員数は1.9人となっています。



※国勢調査引用、令和5年度は住民基本台帳(R6.1.1現在)より引用

(2) 年齢階層別人口割合の推移

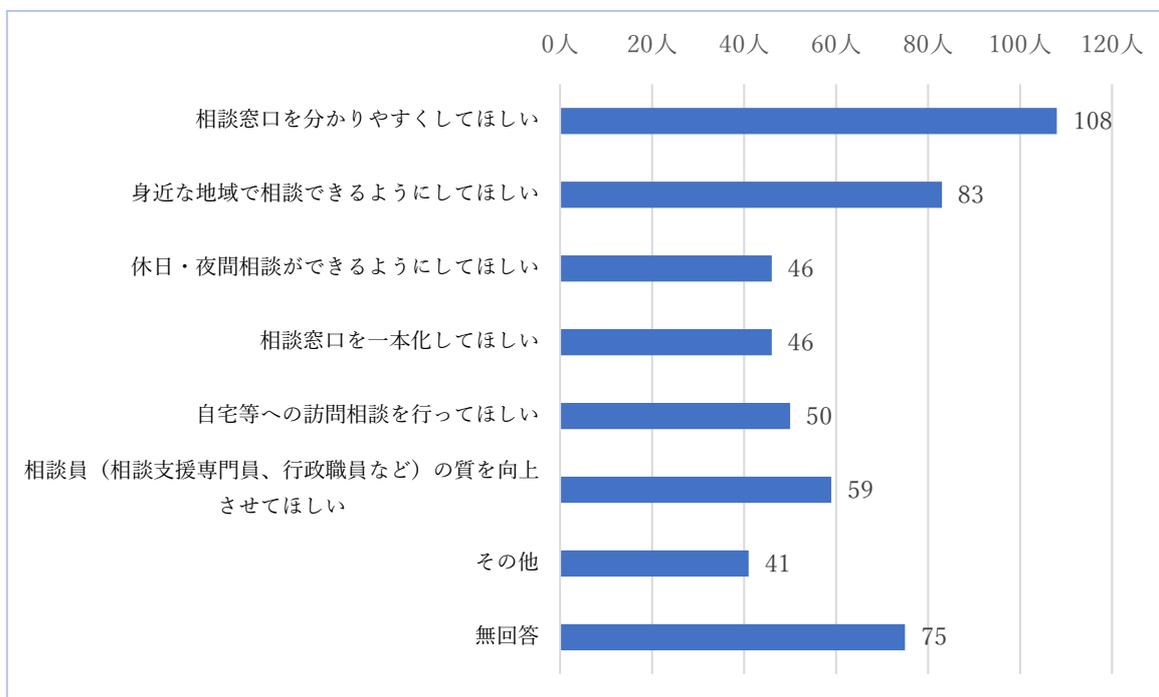
平成7年以降、15歳未満の年少人口割合は65歳以上の老年人口割合を下回り、令和5年には、15歳未満の年少人口割合は7.2%まで減少し、65歳以上の老年人口割合は46.8%に増加しました。15歳以上64歳以下の生産年齢人口割合は、昭和60年以降減少を続け46.0%となっています。



※国勢調査引用、令和5年度は住民基本台帳(R6.1.1現在)より引用

⑤今後の福祉や生活に関する相談支援体制についての希望（N=329）

※複数回答あり



その他の内容

- ・ あまり思わない
- ・ ネットでの相談
- ・ 経済的なこと
- ・ ウソはやめろ
- ・ 相談していないので不明
- ・ 今現在相談相手を全く知りません
- ・ 今のところ考えていない
- ・ わからない
- ・ 特にない
- ・ 県庁所在地にも増やしてほしい
- ・ 現在で十分です
- ・ 回数を多くしてほしい
- ・ 度々相談に来て欲しい
- ・ 家の中がゴチャゴチャなのでデイの方がときどき訪問に来てもらってます。
- ・ 申請を窓口まで行かなくていいようにしてほしい
- ・ 相談しても、また聞いてくれないような気がします
- ・ 相談して下さる方は丁寧でいつも感謝しております。希望したことへ支援、相談のあり方、充実してほしい。

機会を作ってもらいたいです。性教育があるように、障がい教育も力を入れて欲しいです。正しく障がいについて教えてあげることのできない親が多いです。だから子ども達には正しい知識をわかって欲しいです。

○まだ学校での障がいに対する意識が少ないと思います。昔のままの決まり事が多いようで新しい時代に合った考え方をしてほしいです。誰から見ても差別を受けてるようなことがないように教育にもっととりいれてください。

○就労をしたとして障がいのことを理解してくれない上司は注意ばかりで人を褒めることをしない。仕事内容を詳しく伝えることができない等々の点が、仕事が長く続かないことだと思います。企業の障がいを持っている人たちの上司の方々の勉強会が必要だと思います。仕事を自分から楽しく進んで仕事場へ行けるようにしてやって欲しい。また、障がい者年金をもらっているから給料が安くではなく、当たり前給料を支払って欲しいと思います。

○愛南町で就労継続支援事業所を9年間利用したのですが、いつも仕事場にトラブルが絶えることなくいじめの対象にもなりました。何を言ってもいじめはなくなり、家庭内でもトラブルがあって、誰にも相談できませんでした。現在宿毛市に引っ越ししたので大半のトラブルもなくなり安心して生活できています。こうして書いても、きっと誰にも届かないことはわかっていても今後も誰かがいじめられていると思います。

○精神障がいのある人への理解をもっと深められるように各企業、団体へのセミナーのようなことを開き働きやすさ、働く場所の確保ができると良いと思います。会社の中で責任のある位置の人にはもっと障がい者に対しての知識や、理解を持ってほしいと思っています。

○自動車免許を取得するときに自動車教習所の対応が納得いかなかったです。何回もこちらの気持ちを伝えたのですが、全然私たちに寄り添った回答を得られずすごく残念でした。結局、息子は別の自動車教習所の合宿で免許を取得しました。学校の相談員さん、役場の担当者さんにこの話をしたらどの方もびっくりしていました。役場の担当者さんから、免許センターに問い合わせてもらったところ、自動車教習所の対応は適切ではなかったように思います。今回、就職先の社長さんも、免許所得できるまで入社を待ってくださったのでよかったです。そういう対応してくれる会社ばかりではないと思います。今後、私たちみたいな思いをする人がいなくなれば良いなと強く思います。

【生活・金銭面】

○障がいの程度が軽いと生きづらいように思えます。障害者年金はもらえない、けど一般就労はきびしい。A型作業所は入れない。B型で生活なんて出来ない。

ていたので兄の就労やお金のことなど色々努力していたと思います。能力の問題があるのでなかなか思うようにはいかなかったと思います。小学校・中学校と母が特殊学級に入れてもらったことを「自分はバカなんだ、何も出来ないんだ」と思わせることになってしまったのではないかと反省・後悔していました。両親が他界した時点で預貯金をしてくれていたのです。お金には苦労せずに兄のカバーは出来ています。お金は大切だと思つづくと思います。皆さんのおかげでとても助かっています。ご迷惑をおかけしたこともおかけしていることも多々あると思いますが、感謝申し上げます。関係者の皆様ありがとうございます。

○放課後児童クラブ、おれんじくらぶ、ヨハネ、とても助かっています。保育園から、小学校に上がる時もとてもよくしてもらって、特に児童クラブの先生方には保育所に話を聞きに行ってくれたり、大きな不安がす〜と無くなりました。

○障がいをもって本当に嫌だったり辛かったりで本当に病気の怖い思いをしました。福祉について色々勉強にもなりこれからも本当に福祉に頑張ってもらいたいです。

○本庁での手続きはあまりやりたくない。手紙でのやりとりを可能にしてほしいし、無理なら支所での取次をしてほしい。以前、本庁の職員（係長級）の対応で不信感を覚えたから。保健師さんは配慮くださりありがたかったです。アンケートそのものについてフローチャート方式にしてくださる（視覚的に捉えやすいもの）と、答えやすかったです。なんとか答えましたが、回答困難な方も多かったのではないのでしょうか。

○現在本人の父母は別居しており母の実家で子を育てています。本人の実父は、このアンケートの宛先となった子（本人）の障がいを受け入れず認めたりしません。家族内でこの病識を共有できないのに、他人である同級生の保護者、当の子ども達（我が子とクラスメイト）がどうしてわかり合えるというのでしょうか。また、2~3年で異動してしまう行政の担当者さんにあれこれと喋るのも気が引けますし、実際子どもの福祉サービスを受けていても本当に子どものためになっているのか疑問を抱きながらの毎日です。あまり愚痴ばかり書いても仕方ないので、（町独自の施策ではないにしろ）児童手当や特児（本児にはありませんが）を頂けることは本当に有り難く思います。馬鹿なことに消費することなく、子ども達の将来に役立てていきたいです。夜間会議等で本庁を訪れたとき、1階はほぼいつも遅くまで電気が点いていらっしやいます。役場の皆様におかれましては、時間外勤務や休日動員等に追われてゆとりある生活が送れていらっしやらないのかと勝手ながら心配になります。障がい福祉云々よりもそちらが心配です。

親が活着ているときは何とかなるが死んでしまつて本人のみで生きていくとなると生活保護のみかと。シングルで、障がいのある子は成人しているのに仕事はB型の作業所。毎月の病院代、生活苦です。この年金代払わないと障がい者年金もらおうとしてももらえないでしょうし。

○将来の金銭面で不安あり

○生活の金銭面が特に苦しくなつている。生活保護だけでは電気代、ガス代、また食費が高くなるにつれて、生活がきつくなつている。友人にサポートを少ししてもらっているが全くもつて足らない。お金の問題は心の問題になることが多々ある。政府に今の生活環境をもつと厳しく見つめてほしい。物が高くなるにつれて生活もやりにくいことを世の中の人を知つてほしい。特に政府の方々には失望している。

○ストーマ用品の補助を受けているが、物価高騰への検討をしてもらいたい。

○お店の商品の値段やガソリンが高くなつているのでできる範囲で給付金を支給してほしい。

○インフルエンザワクチンの接種を毎年主治医から勧められているが、経済的にきつい（家族全員の接種を言われているため）高齢者には支援があるが、感染したら重症化のリスクの高い障がいの人にも支援があると良いのにと思っている。

○病院受診が多いので医療費無償化してほしいです。障がい者に優しい世の中にしてほしい。予防ワクチン接種も無償化してほしい。

○精神障がいと身体障がいので寝たきり生活です。やる気も起きず人に会うのも苦痛です。将来どのように福祉を受けられるか不安です。もしこの先1人になるようなことになったらどうしようか不安で不安で何も手につかない状態です。

【体調面】

○難病と重身2級はもらっているが怪我や病気で入院するたび、家に帰ると体調が悪くなって手足が不自由になるのが困る自分なりに頑張っているがしんどすぎる。

○毎日、体が動きにくく辛いです。嫌になります。

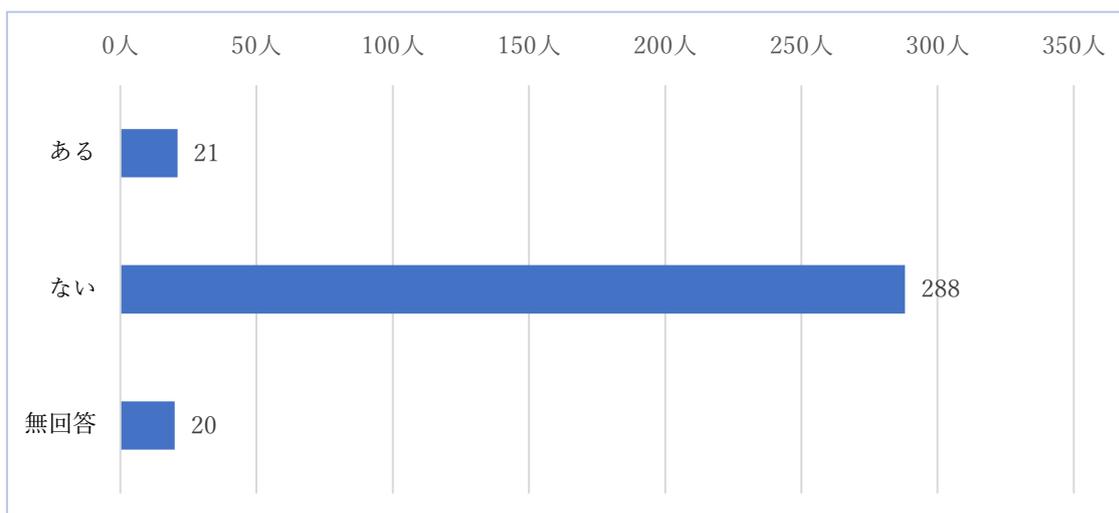
【その他】

○兄は脳性小児麻痺で生まれてきました。両親は私の将来のことも考えてくれ

その他の内容

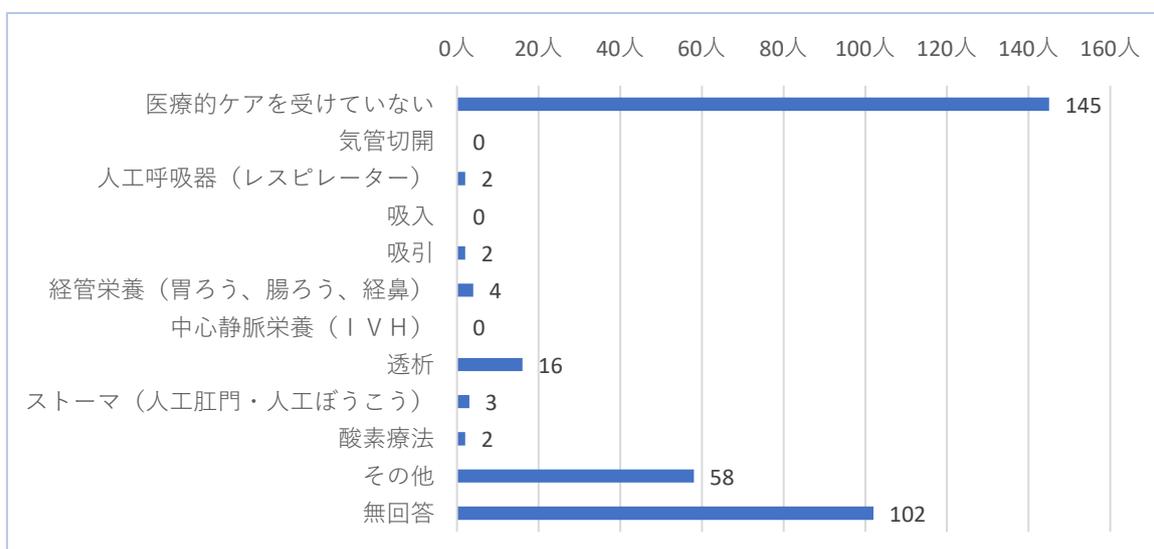
- ・ 統合失調症
- ・ 脳梁欠損症
- ・ 統合失調症
- ・ 情緒
- ・ 双極性感情障がい
- ・ パーキンソン病
- ・ 特異的言語発達遅延
- ・ 透析
- ・ アルコール・スペクトラム症
- ・ 診断がついていない
- ・ 「多動症」とだけ診断されています
- ・ 低年齢のためまだはっきり病名がついていない

⑤強度行動障がいの有無について (N=329)



※強度行動障がいとは、自傷、他傷、こだわり、もの壊し、睡眠の乱れ、異食、多動など本人や周囲の人のくらしに影響を及ぼす行動が、著しく高い頻度で起こるため、特別に配慮された支援が必要になっている状態のことをいいます。

⑥受けている医療的ケアについて (N=329) ※複数回答あり



ので愛南町から宇和島まで送迎をお願いしたいと思っています。なぜなら町内就労 B 型が少なくどうしてというより子どもたちのことを第一に考えて配慮してくれている。今現在利用している作業所を長く利用しています。親子が安心して暮らせる場所が良いと願っています。

(4) 住まいについて

- 私は今家族と暮らしているけれど将来自立して生活したい。福祉アパート、身体障がいの方にはあって知的の方には無いのでそれを検討してもらいたい。金銭的な物や自立してやっていけるか不安なのでそれを含めた福祉アパートも考えて欲しい。
- グループホームをもっと増やして欲しい。

(5) 就労について

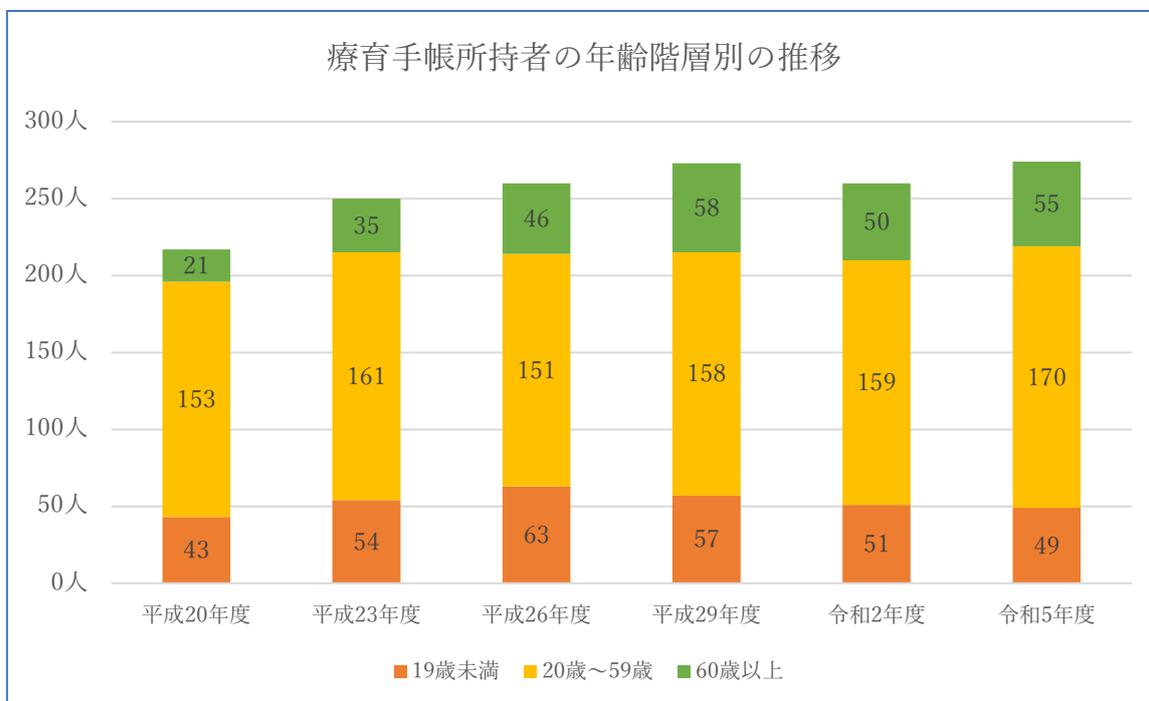
- 障がい者の一般就労について町が積極的に関わり推進して欲しい。景気に左右されない仕事に、また希望する仕事に就けるよう支援して欲しい。
- 障がい者一人一人の特性を生かして楽しく働くことができ安定した収入を得られるようにしてほしい。
- 新しく作ろうとしている施設や既存の施設で積極的に障がい者を雇用して欲しい。
- 自宅において手作業パソコン等でできる仕事が欲しい
- B 型、A 型作業所を地元を増やし、他市町に通わなくてもよいようにしてほしい。
- 今は、B 型に通所しているけど就労の場所が少ないのもっと町内に色々な作業ができるところを作ってもらいたい。
- 就労できる作業所やグループホームの数を増やしてほしい。

(6) その他

- 通院している精神科に心理カウンセラーがいません。以前はいらっしゃったんですが辞職されて数年が経ちます。自立支援の関係で他の病院のカウンセリングを受けようとすると高額になり難しいです。また場所も遠方になります。障害福祉サービスの中にカウンセリングもあると有り難いです。
- 希望を出してもなかなか思うように進まないので諦めています。
- いまの所特にないです。デイサービス、リハ・プライド、訪問看護、ショート

(3) 知的障がい者（児）の状況（療育手帳所持者）

年齢階層別でみると年度によって微増、微減はありますが横ばいで推移をしています。



療育手帳の交付状況

令和5年4月1日現在

	A			B 1			B 2			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	合計
0歳～19歳	3	3	6	7	4	11	23	9	32	33	16	49
20歳～39歳	16	12	28	11	7	18	24	17	41	51	36	87
40歳～59歳	19	19	38	13	12	25	8	12	20	40	43	83
60歳以上	9	15	24	13	7	20	10	1	11	32	23	55
合計	47	49	96	44	30	74	65	39	104	156	118	274

(4) 自立支援医療（精神通院）利用及び精神障害者保健福祉手帳の交付状況

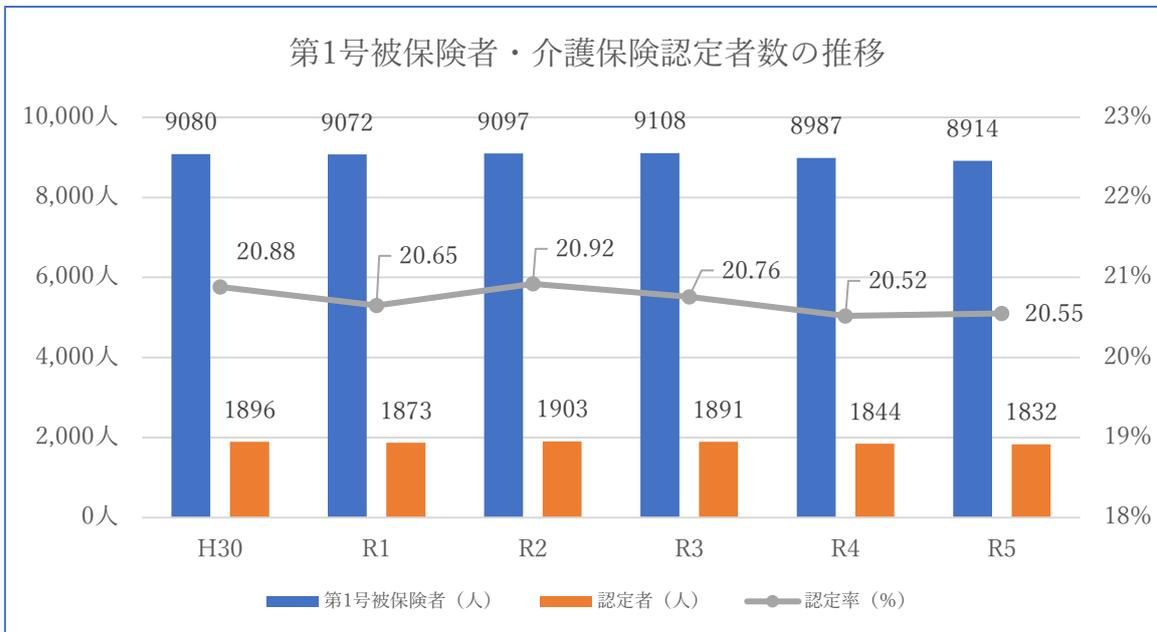
令和5年4月1日現在

自立支援医療（精神通院） 受給者	精神障害者保健福祉手帳所持者数			
	1級	2級	3級	合計
345	15	89	18	122

※345人は自立支援医療（精神通院）を利用して通院されている方の人数になりますので、制度を利用せずに通院されている方や入院されている方の人数は含まれていません。

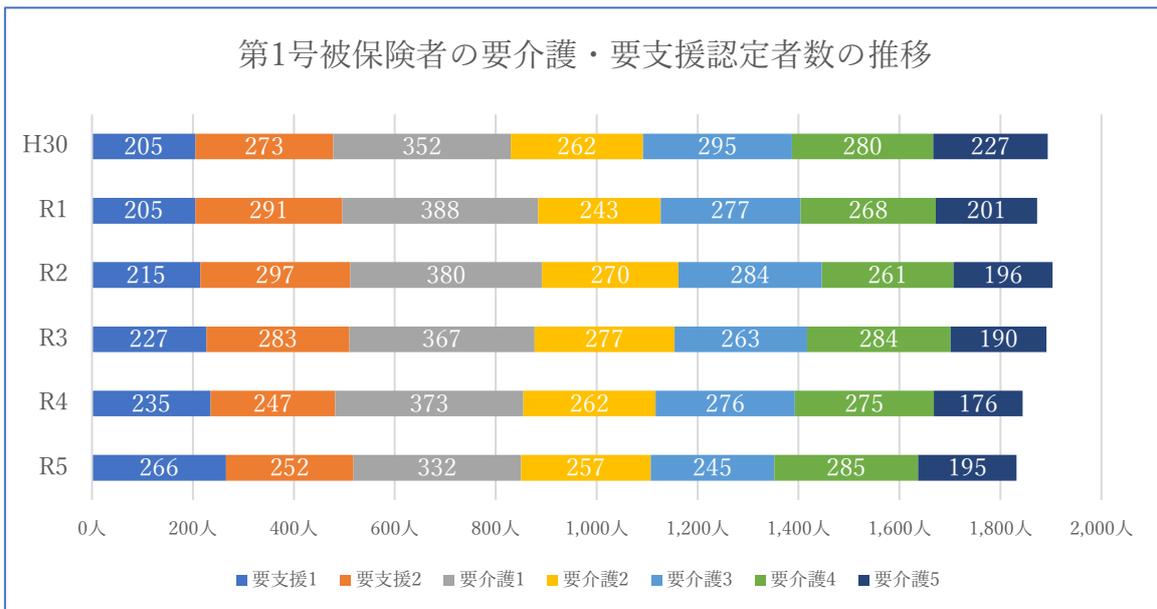
(3) 介護保険認定の状況

第1号被保険者は令和3年から減少傾向にあります。要支援・要介護認定者は年により微増・微減はありますが大幅な増減はみられません。また、認定率は平成25年をピークに20%台で推移しています。令和5年の第1号被保険者は8,914人、認定者は1,832人で、認定率は20.55%でした。



※介護保険事業状況報告書令和5年10月分より引用

認定区分については、大幅な増減はありませんが微増、微減しながら推移しています。



※介護保険事業状況報告書令和5年10月分より引用